

令和5年度

# パノラマ台 ウッドデッキ（展望台整備）工事

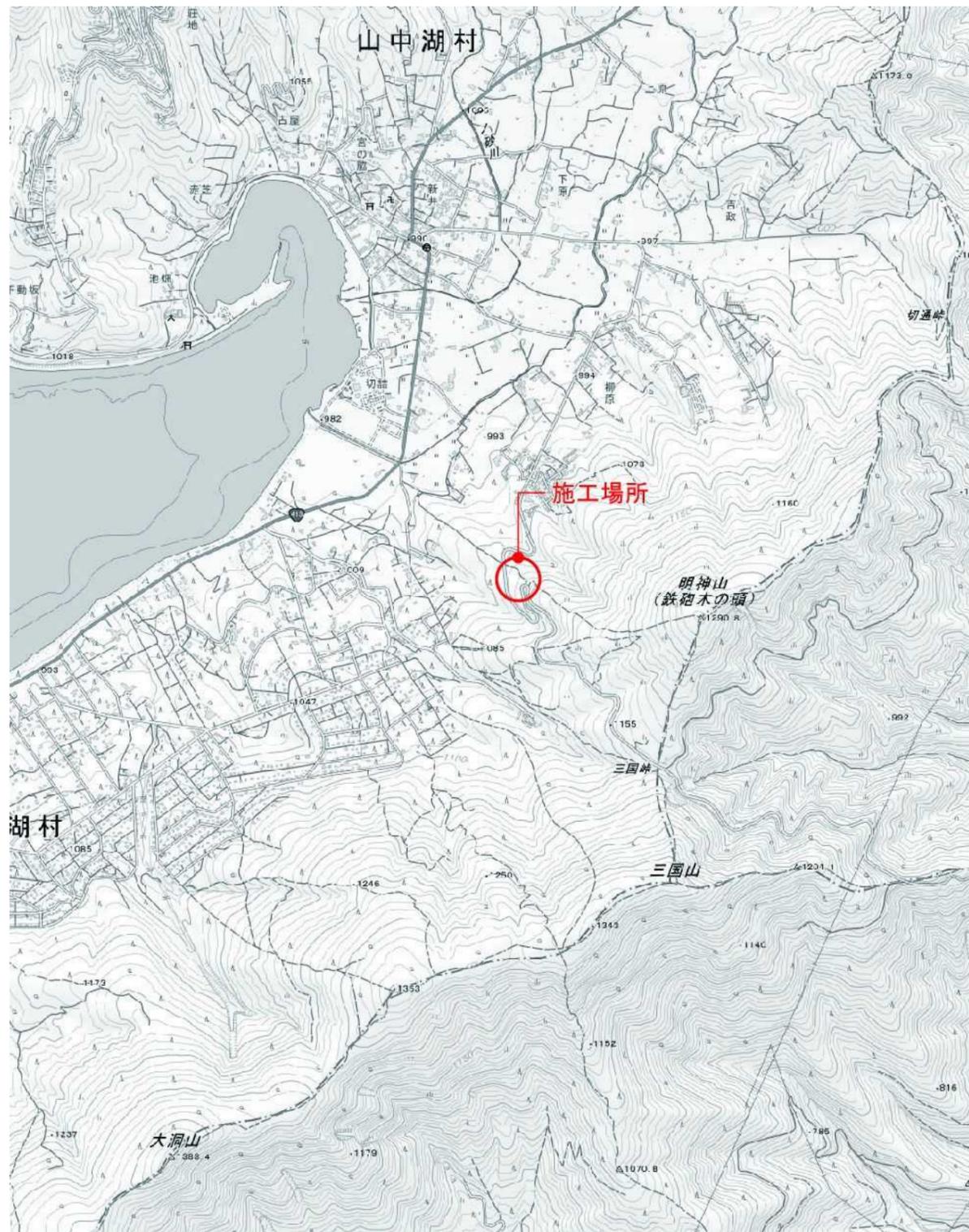
山中湖村 平野 地内

設計 図 面  
(50%縮小版)

令和6年3月

山中湖村

案内図



図面番号	図面名称
	表紙
1	案内図・目次
2	特記仕様書(1)
3	特記仕様書(2)
4	特記仕様書(3)
5	特記仕様書(4)
6	現況図
7	施設平面図
8	設備平面図
9	割付平面図
10	詳細図1[展望デッキ-1]
11	詳細図2[展望デッキ-2]
12	詳細図3[展望デッキ-3]
13	詳細図4[展望デッキ-4]
14	詳細図5[展望デッキ-5]
15	詳細図6[展望デッキ-6]
16	詳細図7[展望デッキ-7]
17	詳細図8[展望デッキ-8]
18	詳細図9[展望デッキ-9]
19	詳細図10[展望デッキ-10]
20	詳細図11[展望デッキ-11]
21	詳細図12[展望デッキ-12]
22	詳細図13[展望デッキ-13]
23	詳細図14[丸太土留め・木製アスカーブ・張芝]
-	詳細図[滑り止めマット](参考)
-	区域座標管理図

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	案内図・目次		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	-	図面番号	1
会社名			
事業者名	山中湖村		



6 コ ン ク リ ー ト	6. 型枠 7. 軽量コンクリート 8. 中空コンクリート 9. 無筋コンクリート 10. 流動化コンクリート	(6.8.2)	せき板の種類 合板 床型特用調製 デッキプレート 断熱材兼用型枠 MCR工法用シート 適用しない 適用する	板厚(mm) 12	適用箇所	備考	8 コ ン ク リ ー ト ・ A L C パ ネ ル	4. 押出成形セメント板	屋根 パネル構法 F種 屋根・0.5	11 タ イ ル 工 事	3. セメントモルタルによる タイル張り	内装タイルの工法 改良種上げ張り 外装タイルの工法 密着張り 改良種張り ユニットタイルの工法 マスク張り	(11.2.7)(表11.2.3)	14 全 工 事	2. ステンレス 表面処理	H L	(14.2.1)	15 左 官 工 事	3. アルミニウム 及びアルミ ニウム合金の 表面処理	(14.2.2)(表14.2.1)	16 工 事	4. 鉄鋼の亜鉛 めっき	(14.2.3)(表14.2.2)	17 工 事	5. 軽量鉄骨 天井下地	野縁などの種類 屋内 19型・25型(室名: 屋外 19型・25型)	(14.4.2)(表14.4.1)	18 工 事	6. 軽量鉄骨 壁下地	スタッド、ランナーなどの種類 (表14.5.1)による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4(5))による	(14.5.3)(表14.5.1)	19 工 事	7. 金属成形板 張り	種別 表面処理 削付面を作成し監督職員の承諾を受ける。 伸縮調整継手・設ける・設けない	(14.6.2)(表14.6.3)	20 工 事	8. アルミニウム 製笠木	表面処理 B B-1種・B B-2種 隅角部及び突当り部の役物の使用 使用する(笠木本体製作所の仕様による。)	(14.7.2)(表14.7.1)(表14.2.1)	21 工 事	9. 手すり及び タラップ	材料の種類 ステンレスSUS304 鋼製 表面処理の種類 HL仕上程度 亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種 ステンレスSUS304 鋼製 亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種	(14.8.2)(表14.8.3)	22 工 事	10. 体育館の 鋼床下地材	JIS A 6519のJIS表示認証製品	(15.3.2)	23 工 事	1. モルタル塗り	モルタル・現場調合材料 既調合材料 既製品地材・設ける(施工箇所: 形状: 図示による) 設けない	(15.3.2)	24 工 事	2. セルフ レベリング材	床目地 種別 石こう系 セメント系 塗厚 10mm	(15.5.2-3)(表15.5.1)	25 工 事	3. 塗り仕上げ 塗材仕上げ	規格名称 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 上塗り材	(15.6.2)(表15.6.1-2)	26 工 事	4. ロックウール 吹付け (耐火被覆は、 7章による)	吹付け厚さ(mm) 図示による	(15.12.3)	27 工 事	1. 一般事項	防火戸の指定 適用する(適用範囲は図示及び建具表による) 建築基準法に基づく防火戸の指定 又は認定を受けたもの(監督員の承諾を受ける。) 適用しない	(16.1.3)																																																					
		7.1.3	指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 S・H・M・R・J 本物件と同規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 施工監理技術者(配置する・配置しない)	(7.2.1)(表7.2.1)	材 質 規 格 SS400・SSC400・STR400・STRK400 SN400B・C・SN490B・C・SW400・SW490 JIS表示認証製品	7.2.2			トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト 溶融亜鉛めっき高力ボルト		(7.2.2)	溶接部の外観試験 平12建造第1464号第二号に関する試験方法等 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則6[鉄骨精度検査基準]の付録3「溶接」に関する試験方法等 JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。	(7.6.12)		完全溶込み溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。	(7.6.12)	溶接の区分 A0DL(%) 検査水準 備考		工場溶接 2.5 4.0 6	耐火被覆材の接着する面 種別 塗装範囲		(7.8.2)(7.8.4)(表18.3.1)(表18.3.2)	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲		(7.9.2)(7.9.4-8)	種別 材料及び工法製造所 備考	ラス張モルタル 標準仕様書15章3節による 耐火材吹付け 建築基準法に基づき定め 耐火材張り られたもの又は認定を 受けたもの 耐火材塗付け 受けたもの		半乾式 湿式	アンカー ボルトの保持 及び埋込み工法	(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)		種別 適用箇所	A種 B種 C種	8. 柱底均しモルタル		(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)	種別 適用箇所 柱底均しモルタル	A種 B種		無収縮モルタル 無収縮モルタル	9. 溶融亜鉛 めっき	(7.12(4)(2.3)(表14.2.2)		種別 適用箇所	A種	1. 補強コン クリート ブロック造		(8.2.2)	ブロックの種類 空洞ブロック C(16)	2. コンクリート ブロック構壁 及び梁		(8.3.2)(表8.3.1)	ブロックの種類 空洞ブロック C(16)	3. ALCパネル		(8.4.2)(8.4.3-5)(表8.4.2-4)	パネル構法 パネル種類 厚さ 幅 取付構法種別 施工箇所 耐火性能	外壁 パネル構法 間仕切壁 パネル構法		A種 B種 C種・D種 E種	1 1	1. 石 材		(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)	石材の種類 品質 施工箇所 工法 産地・名称 仕上の種類	2. 清掃	床のワックスかけ 行う 行わない	(10.1.5)	1. セラミック タイルの品質	JIS A 5209のJIS表示認証製品 施工箇所 形状寸法 つや 裏面 色 無種施ありなし 標準注文	(11.2.2)(11.3.2)	タイルの見本焼き 行わない 行わない タイルの試験張り 行わない 行わない	2. タイル下地 コンクリート	あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理 行う(下記のいずれかとする) 素地表面処理の工法 MCR工法 MCR工法 目黒し工法(高圧水洗) 目黒し工法(高圧水洗) ポリマーセメントモルタル 目黒し工法(高圧水洗) ポリマーセメントモルタル MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし(6.8.2(5))による。 目黒し工法の高圧水洗は(15.3.4(3))による。 ポリマーセメントモルタルの調査は(15.3.3(4))による。	(11.2.7)(11.3.7)	1. 木 材 の 表面仕上げ	(12.1.4)(表12.1.1)	表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 手加工	A種 B種 C種 H-A種 H-B種 H-C種	2. 造作用集成材	造作用集成材 12.2.1.(3)による 見付け材面 等 級 単材の樹種 単材の厚さ(mm)	JASによる集成材 1等 2等 JAS集成材1等同等	(12.2.1)	3. 造作用単板 積層材	造作用単板積層材 12.2.1.(4)による 表面の化粧加工 単材の樹種 単材の厚さ(mm)	JASによる集成材 有(天然木化粧加工 塗装加工) 有(天然木化粧加工 塗装加工) 無 無	(12.2.1)	4. 直行集成材 (CLT)	造作用集成材 12.2.1.(5)による 施工箇所 種別 樹種	(12.2.1)	5. 防湿・防蟻 ・防虫処理	薬剤の加圧注入による防湿・防蟻処理 適用部位 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防湿・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 K1	(12.3.1) (12.3.2)	1. 長尺金属板葺	(13.2.2)(表13.2.1)	材 種 規格 厚さ(mm) 屋根葺形式 備考 カラー亜鉛鉄板 (片面塗装・両面塗装) ガルバリウム鋼板 (無塗装) カラーガルバリウム鋼板 (カラー)	JIS G 3312 JIS G 3321 JIS G 3322	0.4 0.4 0.4	瓦葺葺 (心木なし)	AL55% AL55%	2. 折板葺	JIS A 6514のJIS表示認証製品 材 種 規格 厚さ 山高及び ピッチの区分 断熱材 耐火 性能	JIS G 3312 JIS G 3322 JIS X 6744	0.8 0.8 1.730	有 有 無	(30分 耐火) 無	3. 粘土瓦葺	JIS A 5208の表示認証製品 種 類 大きさ 産 地 役物瓦の種類 凍害試験 行う	(13.4.2)	4. と い	とこの材質 材 種 規格 防 霜 配管用鋼管(SGP) 硬質塩化ビニル管(VVP)	(13.5.2)(13.5.3)(表13.5.1)(表13.5.2)(表13.5.4)	鋼管製とこの防霜巻き工法 第一棟まで接続 種受石(材質・規格)	(表13.5.4)による	5. ルーフドレン	鋼鉄製 (縦型・横型) (表13.5.1)	1. 木 材 の 表面仕上げ	引抜き耐力の確認試験 行う 行わない	(14.1.3)

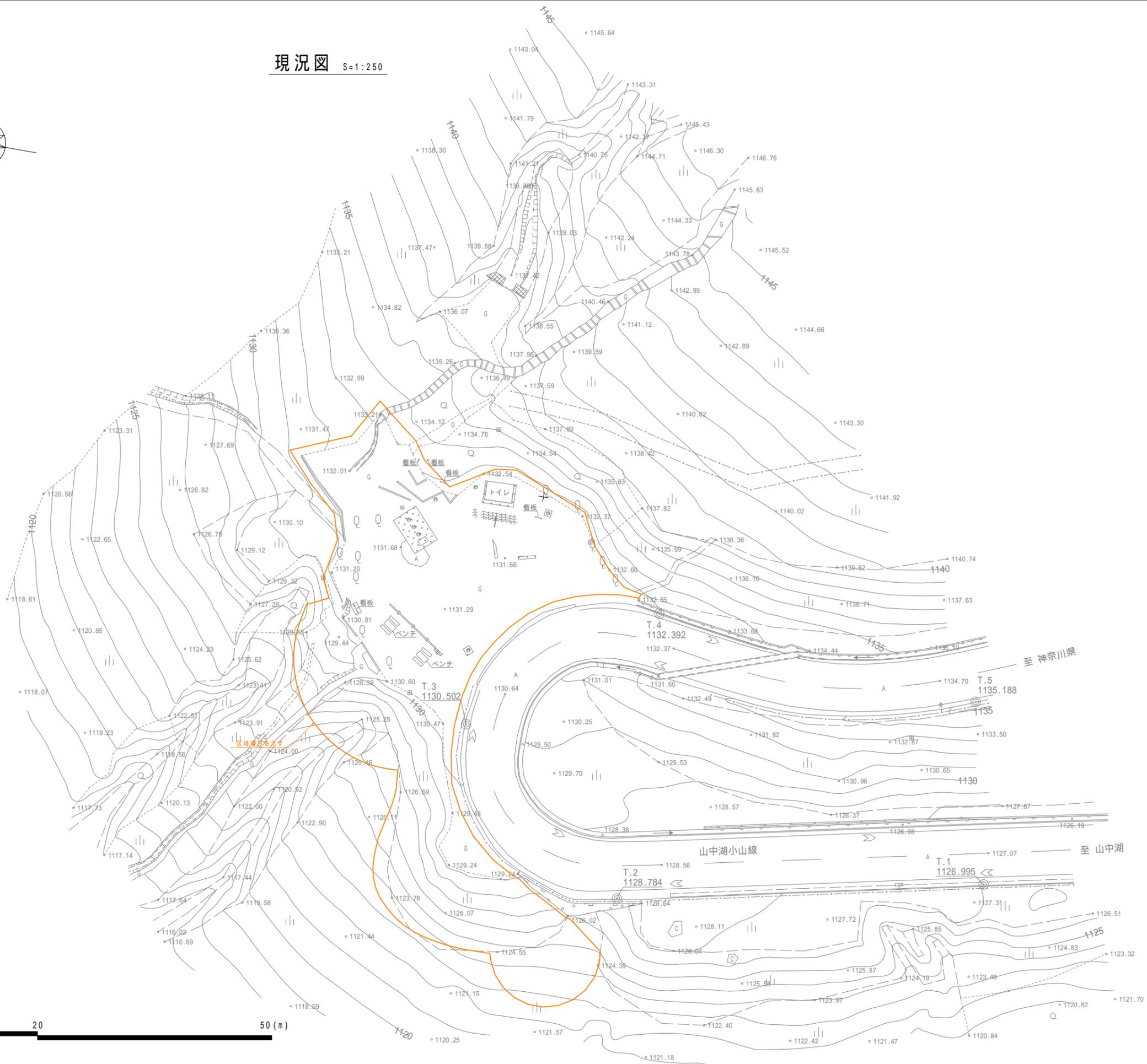
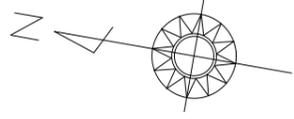
工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	特記仕様書(2)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	-	図面番号	3
会社名			
事業者名	山中湖村		

16 建 具 工 事	2. アルミニウム 製建具	防火戸との連動 (16.1.3) ・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による) ・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 適用しない	6. 鋼製軽量建具 建 具 工 事	簡易気密型ドアセット (16.5.2-4)(表16.5.1) 使用(適用箇所は図示による) ・ 気密性 A-3 ・ 使用しない	14. ガラス 建 具 工 事	(16.14.2)(16.14.3) 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ 類 ・ 1類 ・ 2類 ・ 類 強化ガラスの特性 ・ 類 ・ 類 熱線吸収ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 防止の加速耐久性による区分 類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	18. 6. アクリル樹脂 非水分散形塗 料塗り(屋内) (NAD) 7. 耐候性塗料 塗り(屋外) (DP) 8. つや合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) 9. 合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り(EP) 10. 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T) 11. ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) 12. オイルステイン 塗り(OS) 13. 木材保護塗料 塗り(WP)	コンクリート・モルタル面 ・ A種 B種 (18.6.2) 上塗りの等級 鉄鋼面 1級 2級 3級 亜鉛めっき鋼面 1級 2級 3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 A種 B種 C種 (18.7.2-4)(表18.7.1-3) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面 ・ A種 B種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 B種 コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面 ・ A種 B種 コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他 のボード面(屋内) ・ A種 B種 木部 ・ A種 B種 (18.11.2) 木部 ・ 水性 ・ 油性 (18.12.2) 木部(屋外) ・ A種 B種 (18.13.2)
	3. 網戸	外部に面する建具性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 A-3 W-4 70(引違い、片引き、上げ下げ窓 で複層ガラスを使用する時で 性能が確保できない場合は、 100) ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100 適用箇所は図示による 外部に面する建具性能等級等(木下地) (表16.2.2) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ D種 S-2 ・ E種 S-3 A-3 W-3 建具表による 適用箇所は図示による (表14.2.1) 表面処理 外部に面する建具 BB-1種 BB-2種 内部 建具 BC-1種 BC-2種 BB-2種、BC-2種の場合 ・ ブロンズカラー(標準色 ・ 濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) 適用しない 適用する場合の遮音性能等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) 適用しない 適用する場合の断熱性能等級 ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) 適用しない 適用する場合の面内変形 追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 外面納まりの可動式 (16.2.3) ・ 内部納まりの開き式 ・ 防虫網(線径0.25mm 網目16・18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス(SUS316) 合成樹脂 ・ 防鳥網 ステンレス(SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm	7. ステンレス製 建具 工 事	簡易気密型ドアセット (16.6.2-5) 使用(適用箇所は図示とする) ・ 気密性 A-3 ・ 水密性 W-1 ・ 使用しない	15. ガラスブロック (中空) (16.14.5) 表面形状 モジュール呼び寸法 (JIS A5212) による区分(長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 全風 種 耐火性能 ・ 一般ガラス ・ 無 ・ 白 ・ アルミニウム製 ・ 乳白ガラス ・ 有 ・ グレー (表面処理) ・ カラーガラス ・ ステンレス製 ・ 熱線反射ガラス (表面仕上) (有 分間)	19. 1. ビニル床 シート 2. 化粧ビニル 床シート 3. ビニル床 タイル 4. ビニル床 シート・ビニル 床タイルの 特殊機能 5. 視覚障害者用 床タイル 6. ビニル幅木 7. カーペット 敷き 8. 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3) 種 別 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 発泡層の ないもの ・ F5 ・ T5 ・ マーブル ・ 2.0 ・ 2.5 ・ 帯電防止 ・ 熱溶接 ・ 突付け 発泡層の あるもの ・ H5 ・ K5 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木 目又は石目調のもの 種類記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法 F5 木目調 2.0 帯電防止 熱溶接 石目調 2.5 耐動荷重 突付け 上記以外はすべてビニル床シートに同じ 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3) 種 別 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 コンポジション ・ K T 300×300 2.0 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重 ・ 覆層 ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 450×450 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2~3.1程度 又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)3.2~5.1程度 又は漏れい抵抗値(JIS A 1454)1×1070オーム未満 ・ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)5.2以上 又は漏れい抵抗値(JIS A 1454)1×107オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離 強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の 試験後異常がないこと。 材 質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 300×300 材 種 軟質 硬質 高 寸(mm) 60 75 100 厚 寸(mm) 1.5 2.0 ・ タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2) 施工箇所 バイエル バイエル 工 法 品 質 帯電性 形状 長さ(mm) 全面接着工法 ・ グリッパ工法 (19.3.2)による 品質は参考商品名である ・ タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2) 施工箇所 種 別 バイエル形状 寸法 総厚さ 帯電性 第1種 ループバイエル 500×500 6.5 製造所の ・ 第2種 ・ カットバイエル 仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ	
	4. 樹脂製建具	外部に面する建具性能等級等 (16.3.2)(表16.3.1)(表16.3.2) (コンクリート下地系及び鉄骨下地) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 W-4 ・ B種 S-5 A-4 W-5 建具表による ・ C種 S-6 適用箇所は図示による 木下地 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ D種 S-4 A-4 W-3 建具表による ・ E種 S-5 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ (表16.3.3) ・ 適用する(適用範囲は図示による) 適用しない 適用する場合の遮音性能等級 ・ T-1 ・ T-2 断熱ドアセット、断熱サッシ (表16.3.4) ・ 適用する(適用範囲は図示による) 適用しない 適用する場合の断熱性能等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 表面色 (16.3.4) ・ 標準色(白) ・ 特注色(・黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット (16.4.2)(16.4.4)(表16.4.1)(表16.4.2) 使用(適用箇所は図示とする) 気密性 A-3 水密性 W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 S-4 ・ S-5 ・ S-6 鋼 板 (16.4.3-4) 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 建具寸法が(16.4.4(1))を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠 種類 枠 方立、無目 (表16.4.2)と同じ 一般部分 2.3 出入口 枠 種類 一般部分 2.3 戸 中 2.3 上記以外 (表16.4.2)と同じ 標準型鋼製建具 使用する ・ 使用しない (16.4.6)	10. 自動ドア 開閉装置 (16.8.4) マスターキーの製作 ・ 要 ・ 不要 ・ 不要(既存マスターキーで施設可能とする。) 引き戸用検出装置の種類 ・ 光線(反射)センサー (16.9.3)(表16.9.4) ・ タッチスイッチ 補助センサーを設置する(補助光電センサー) 連結防止装置 ・ 要 ・ 不要 全半開装置 ・ 設ける(半開幅= ) ・ 設けない	8. 木製建具 (16.7.2-4) 建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上節程度 柎、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 戸がすま 工法(・ 在来型 ・ チップ型) (16.8.2)(表16.8.1) 全 物 の 種 類 型 式 製 造 所 シリンダー箱錠 本飾り付きモノロック レバーハンドル レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所 モノロック シリンダー本飾り錠 グレン錠 ドアクローザー フロアピンジ ピンジクローザー ピンジクローザー ピボット形 ピボットピンジ JIS表示認証製品 戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、 シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 埋り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの製作 ・ 要 ・ 不要 ・ 不要(既存マスターキーで施設可能とする。) 引き戸用検出装置の種類 ・ 光線(反射)センサー (16.9.3)(表16.9.4) ・ タッチスイッチ 補助センサーを設置する(補助光電センサー) 連結防止装置 ・ 要 ・ 不要 全半開装置 ・ 設ける(半開幅= ) ・ 設けない	17. 1. カーテンウ ォールの種別 2. カーテン ウォールの 性能等 (17.1.2-3)(17.2.2-3)(17.3.2-3) ・ メタルカーテンウ ォール ・ Pカーテンウ ォール 材 種 耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度変化性 遮音性 断熱性 材質等性能の確認方法 適切な資料により、監督員の承諾を受ける 層間変異追従性 シーリング材 構造ガスケット ガラス 断熱材 摩擦低減材・取付金物 カーテンウォール製作所の仕様による 表面仕上げ			
	5. 鋼製建具	外部に面する建具の耐風圧性 S-4 ・ S-5 ・ S-6 鋼 板 (16.4.3-4) 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) 建具寸法が(16.4.4(1))を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠 種類 枠 方立、無目 (表16.4.2)と同じ 一般部分 2.3 出入口 枠 種類 一般部分 2.3 戸 中 2.3 上記以外 (表16.4.2)と同じ 標準型鋼製建具 使用する ・ 使用しない (16.4.6)	11. 重量 シャッター (16.11.2)(表16.11.1) 種 別 シャッター ケース 耐風圧 強度 開閉方式 保護装置 ・ 管理用シャッター ・ 設ける ・ 設けない 建具表 及び 図示 による 上部電動式 (手動併用) 上部電動式 (手動併用) 障害物感知装置 (自動閉鎖型) 障害物感知装置 (自動閉鎖型)を 設ける。 防火シャッター ・ 外装用 ・ 内装用 ・ 防塵シャッター 上部電動式 (手動併用) 障害物感知装置 (自動閉鎖型)を 設ける。 スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	18. 1. 一般事項 2. 素地ごしらえ 3. 錆止め 塗料塗り 4. 合成樹脂塗 床 5. クリアラック 塗り(CL)	18.1. 一般事項 (18.1.3) 認定を受けたものとする。 各部の素地ごしらえ (18.2.2-7) 木部 A種(不透明塗料塗) B種(透明塗料塗) 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 モルタル・プラスター面 ・ A種 B種 コンクリート・ALC面 ・ A種 B種 ボード面 A種(掘目処理工法) B種(その他) 塗料の種類 (18.3.2) 鉄鋼面 A種 B種(標準仕様書8部の場合) 亜鉛めっき鋼面 A種・B種 錆止め塗料塗り (18.3.3) 鉄鋼面 A種 B種(見え隠れ) 亜鉛めっき鋼面 A種(見え隠れ) B種(見え隠れ) A種(鋼製建具等) B種(その他) C種 塗料の種類 (18.4.2) 1種 2種 合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3-5) 鉄鋼面 木部 A種(屋外) B種(屋内) 木部 ・ A種 B種 (18.5.2)			

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	特記仕様書(3)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	-	図面番号	4
会社名			
事業者名	山中湖村		



現況図 S=1:250



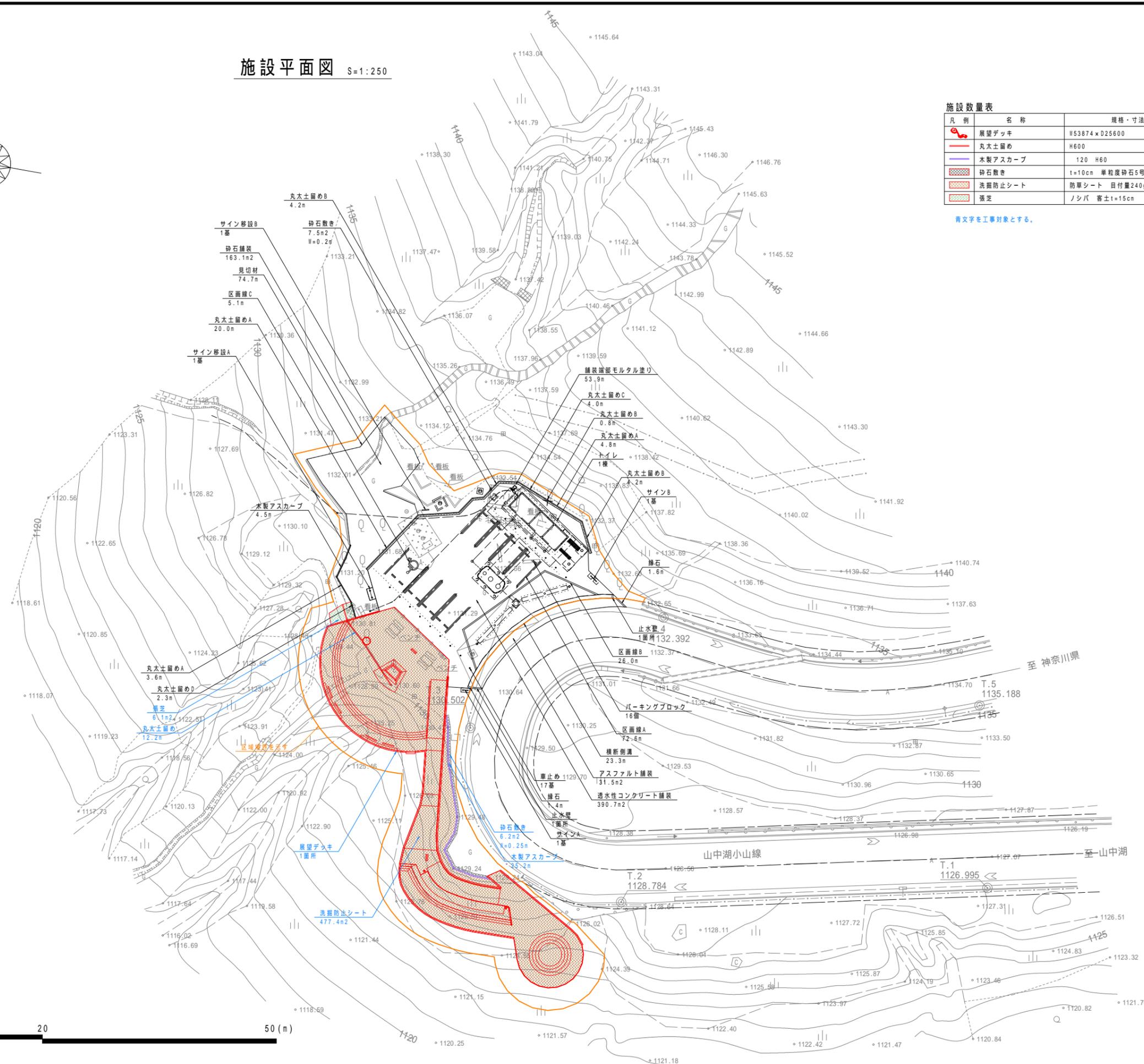
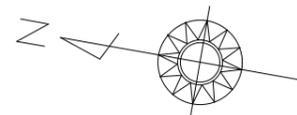
工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	現況図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	1:250(A1)	図面番号	6
会社名			
事業者名	山中湖村		

施設平面図 S=1:250

施設数量表

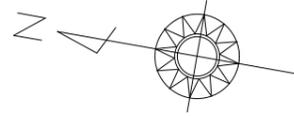
凡例	名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
	展望デッキ	≒53874×D25600	箇所	1	
	丸太土留め	H600	m	12.2	
	木製アスカーブ	120 H60	m	25.2	
	砕石敷き	t=10cm 単粒度砕石5号	m <sup>2</sup>	6.2	
	洗掘防止シート	防草シート 目付量240g/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	477.4	茶色
	張芝	ノシバ 客土t=15cm	m <sup>2</sup>	6.1	

青文字を工事対象とする。



工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	施設平面図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	1:250(A1)	図面番号	7
会社名			
事業者名	山中湖村		

# 設備平面図 S=1:250



設備数量表

凡例	名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
□	ブルボックス	200 x 100h	箇所	2	展望デッキ部
○	フットライト	137 x 150h	基	2	展望デッキ部
○	スポットライト	60 x L132 調光式	基	1	展望デッキ部

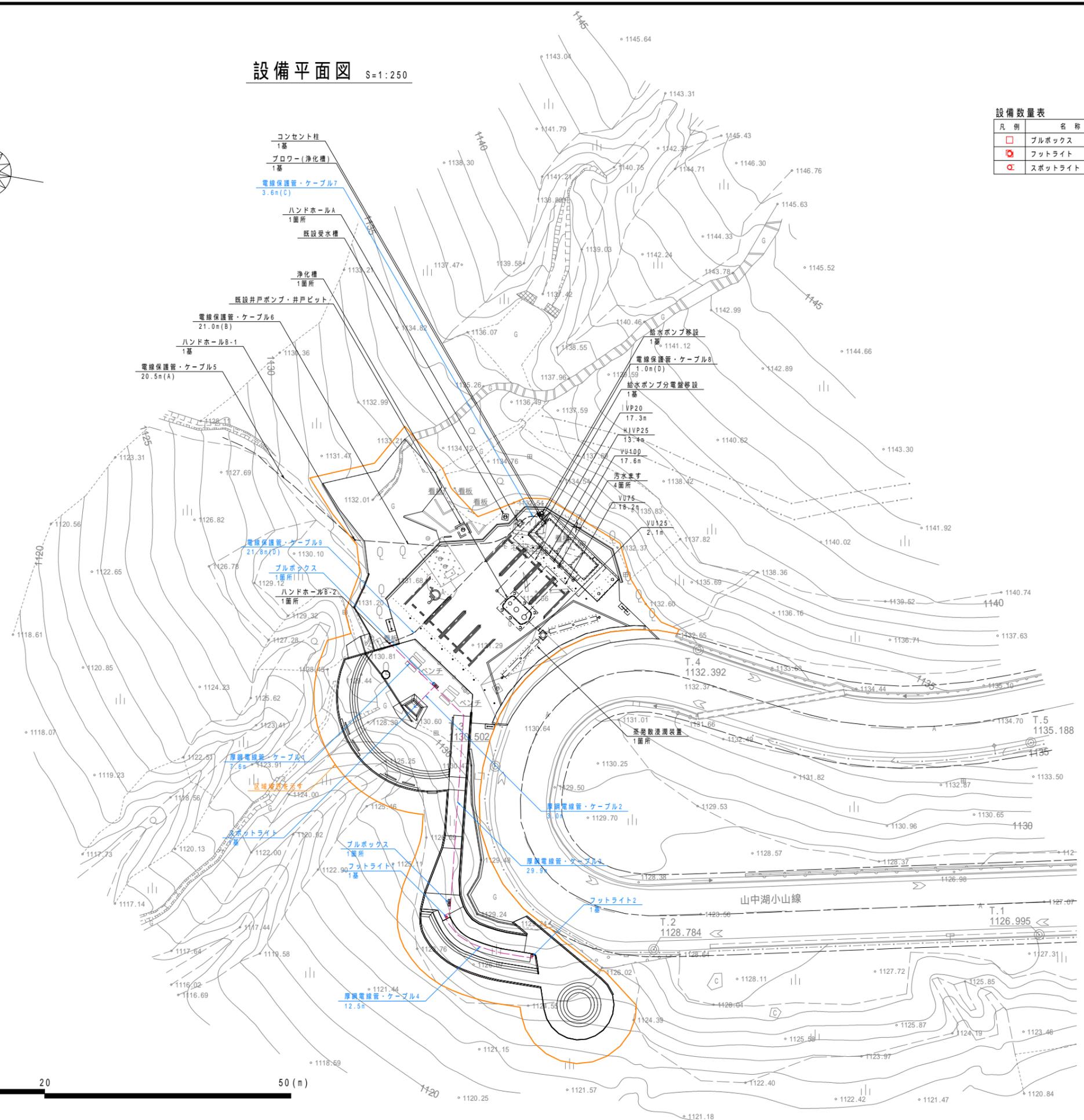
表：電線保護管・ケーブル

番号	数量(m)	器具類	電線種	電線保護管
1	42.0	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管A
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
2	43.0	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管A
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
3	40.7	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管A
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
4	31.0	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管A
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
5	20.5	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管A
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
6	21.0	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管B
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
7	3.6	トイレ	CET60	FEP65 電線保護管C
		給水ポンプ分電盤	CET14	FEP40
		スポットライト	CE3.5-3C	FEP30
		フットライト1	CE3.5-3C	
8	1.0	コンセント柱	EEF2.0-2C	FEP30 電線保護管D
		コンセント柱	EEF2.0-2C	
9	21.8	スポットライト	CE3.5-3C	FEP30 電線保護管D
		フットライト1	CE3.5-3C	
		フットライト2		

表：厚鋼電線管・ケーブル

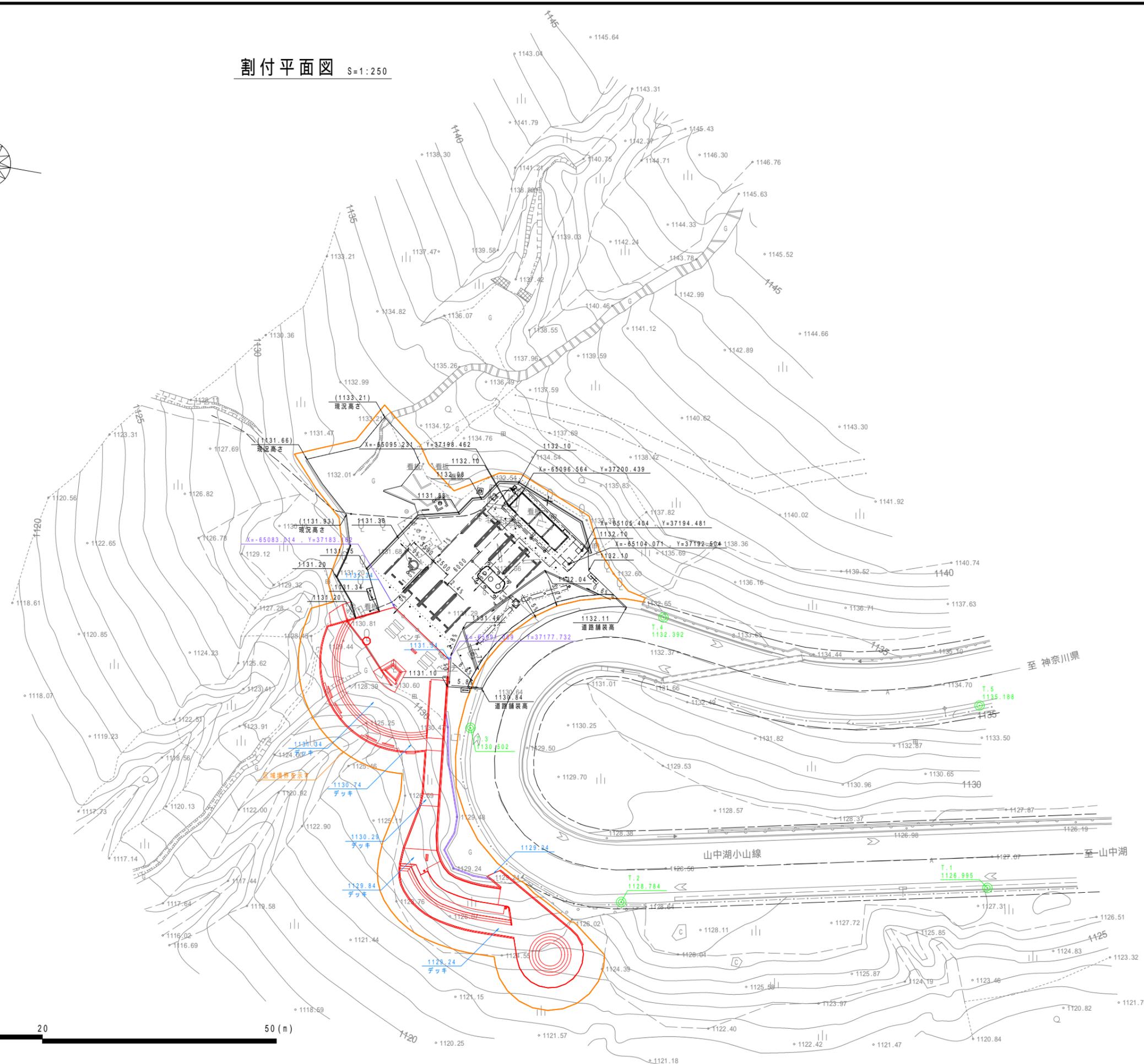
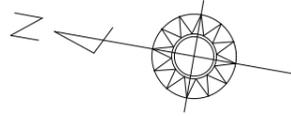
番号	数量(m)	器具類	電線種	厚鋼電線管
1	7.6	スポットライト	CE3.5-3C	G22
		フットライト1	CE3.5-3C	G22
		フットライト2		
2	3.0	スポットライト	CE3.5-3C	G22
		フットライト1		
3	29.9	フットライト1	CE3.5-3C	G22
		フットライト2		
4	12.5	フットライト2	CE3.5-3C	G22

青文字を工事対象とする。



工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	設備平面図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	1:250 (A1)	図面番号	8
会社名			
事業者名	山中湖村		

割付平面図 S=1:250

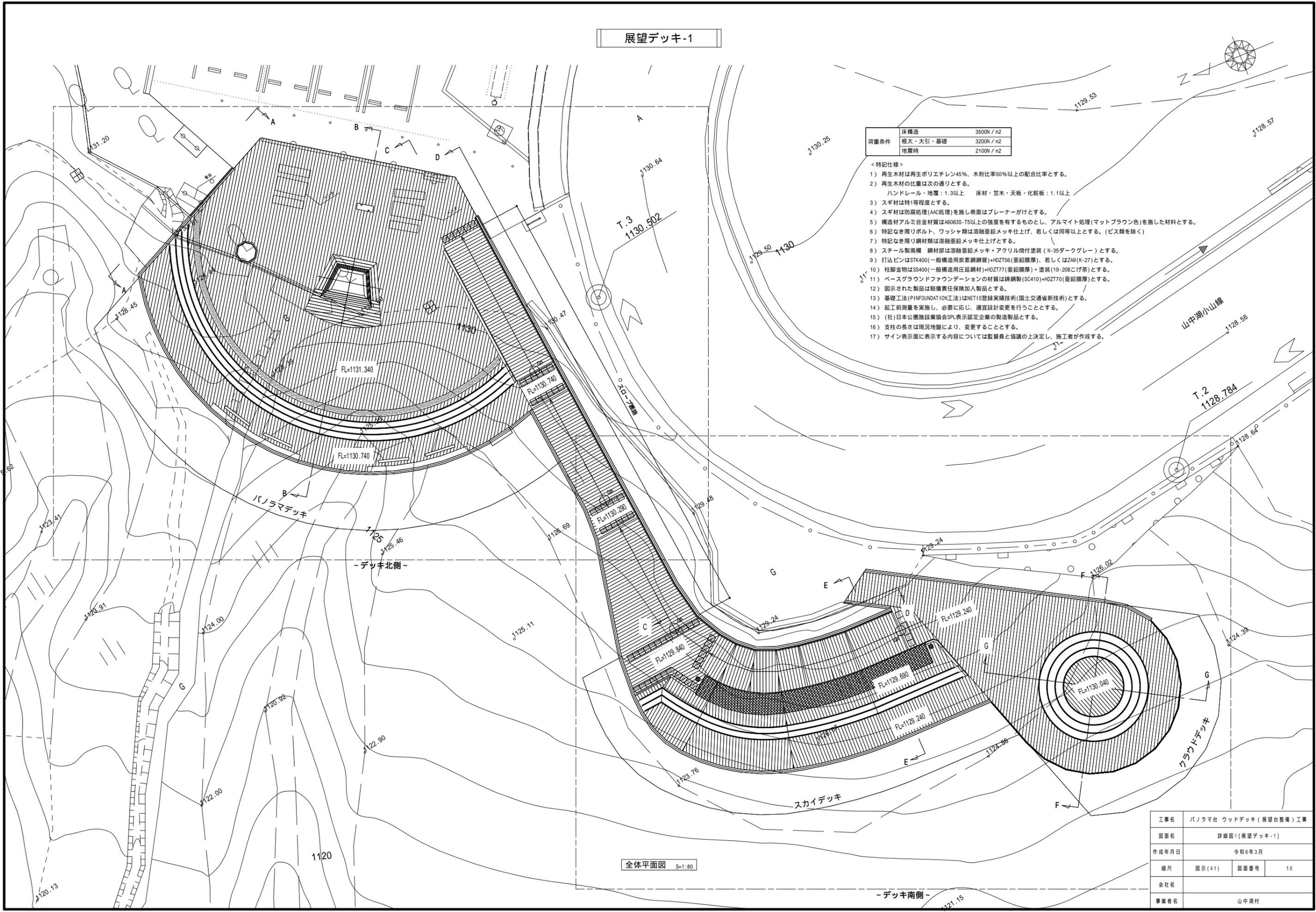


基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標
T.1	-65164.118	37160.928
T.2	-65118.178	37151.006
T.3	-65095.297	37169.621
T.4	-65117.185	37187.852
T.5	-65159.052	37183.786

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	割付平面図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	1:250(A1)	図面番号	9
会社名			
事業者名	山中湖村		

展望デッキ-1



床構造	350N / m <sup>2</sup>
荷重条件 根太・大引・基礎	3200N / m <sup>2</sup>
地震時	2100N / m <sup>2</sup>

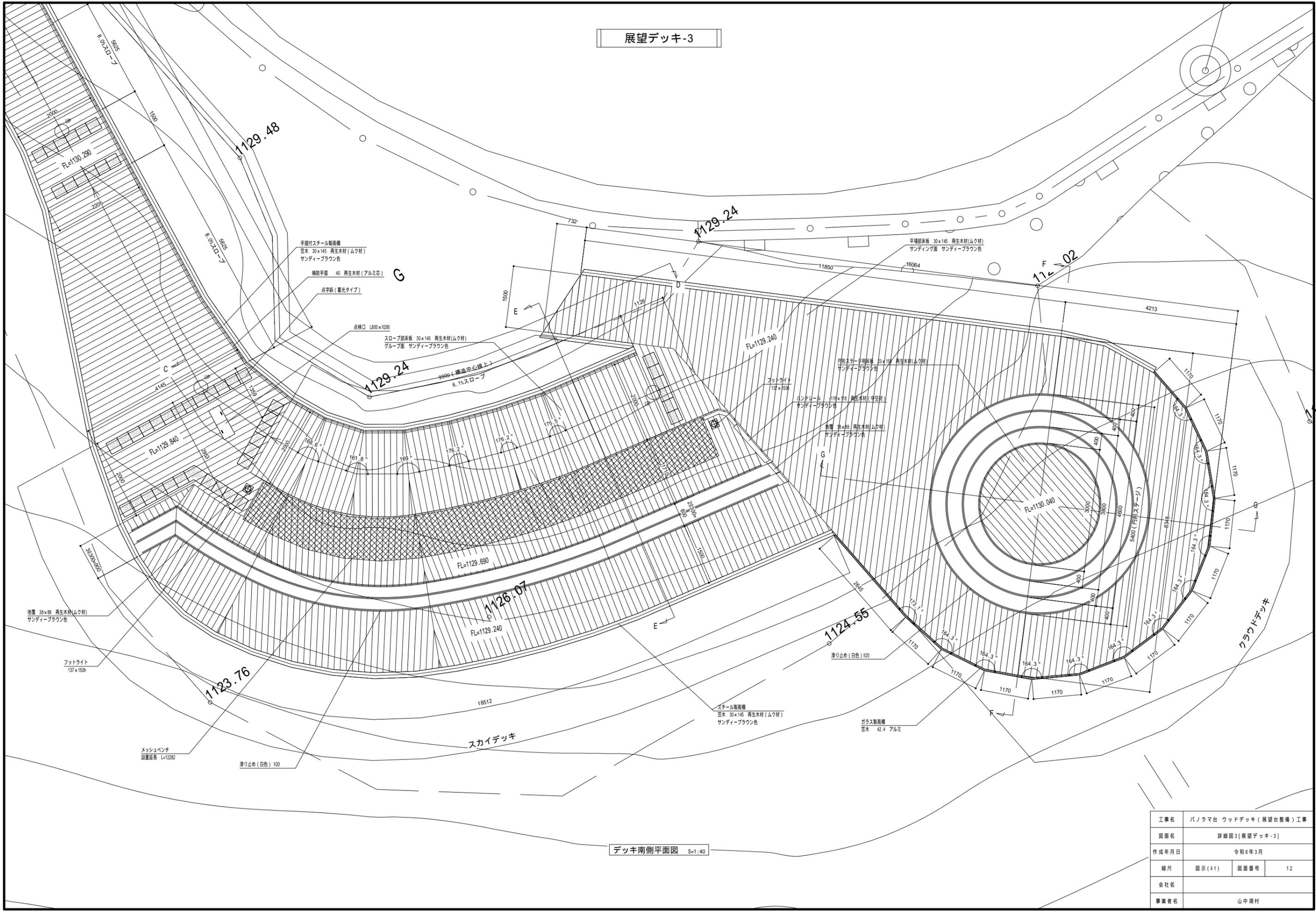
- <特記仕様>
- 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
  - 再生木材の比重は次の通りとする。  
ハンドレール・地覆：1.3以上 床材・笠木・天板・化粧板：1.1以上
  - スギ材は特1等程度とする。
  - スギ材は防蟻処理(AAC処理)を施し表面はプレーナーがけとする。
  - 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
  - 特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛メッキ仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
  - 特記なき限り鋼材類は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
  - スチール製高欄 鋼材部は溶融亜鉛メッキ+アクリル焼付塗装(N-35ダークグレー)とする。
  - 打込ピンはSTK400(一般構造用炭素鋼鋼管)+HDZT56(亜鉛膜厚)、若しくはZAM(K-27)とする。
  - 柱脚金物はSS400(一般構造用圧延鋼材)+HDZT77(亜鉛膜厚)+塗装(19-20Bこげ茶)とする。
  - ベースグラウンドファウンデーションの材質は鋼鋼製(SC410)+HDZT70(亜鉛膜厚)とする。
  - 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
  - 基礎工法(PIN FOUNDATION工法)はNETIS登録実績技術(国土交通省新技術)とする。
  - 起工前測量を実施し、必要に応じ、適宜設計変更を行うこととする。
  - (社)日本公園施設業協会SPL表示認定企業の製造製品とする。
  - 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。
  - サイン表示面に表示する内容については監督員と協議の上決定し、施工者が作成する。

全体平面図 S=1:80

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図1[展望デッキ-1]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	10
会社名			
事業者名	山中湖村		



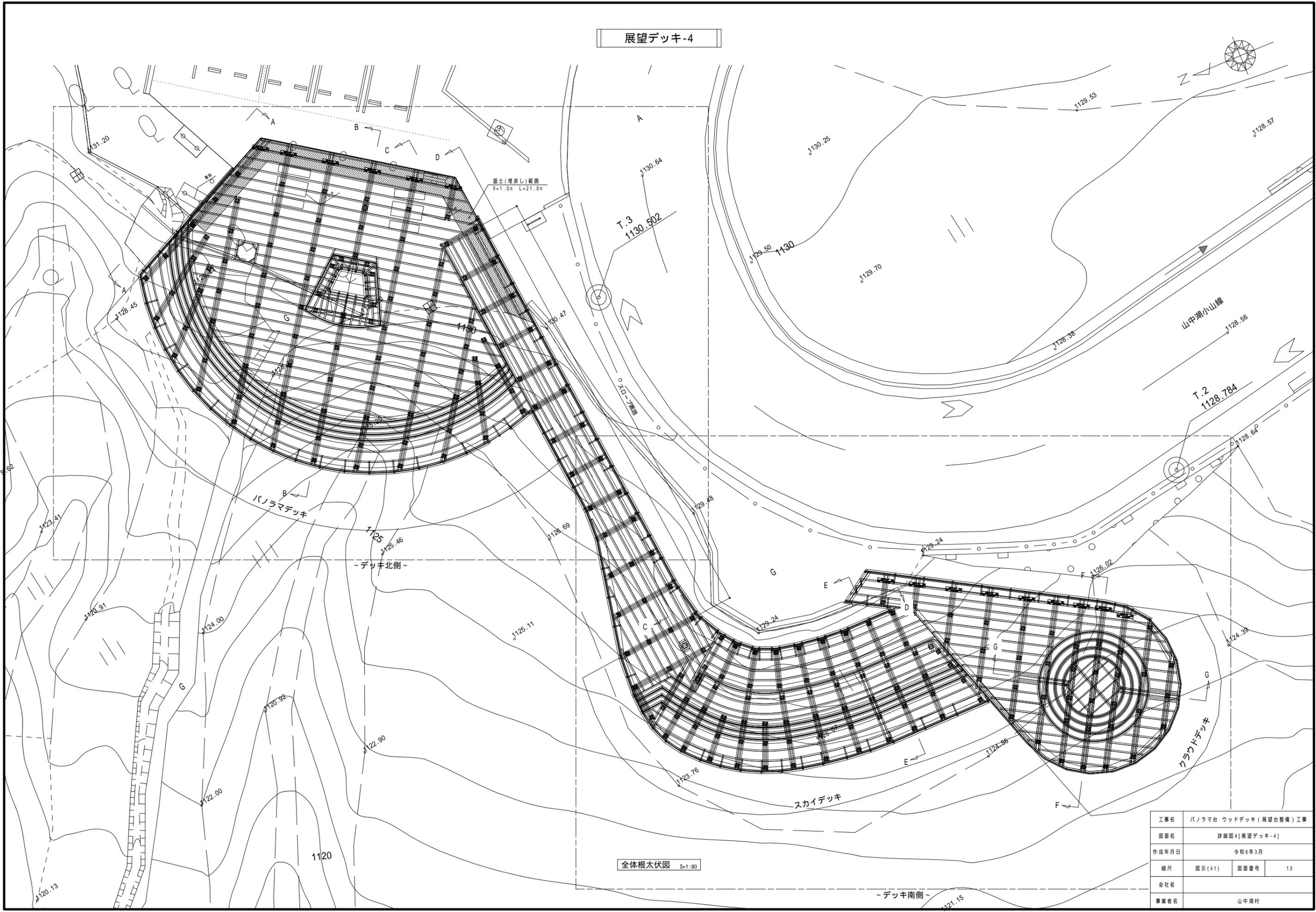
展望デッキ-3



デッキ南側平面図 S=1:40

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図3[展望デッキ-3]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	12
会社名			
事業者名	山中湖村		

展望デッキ-4



工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図4[展望デッキ-4]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	13
会社名			
事業者名	山中湖村		

展望デッキ-5

支柱 120×120 アルミハニカム  
 スピードパイプ継ぎ (支柱付)  
 基礎材 150×100×3 アルミ

根太・大引 150×70×6 アルミ

吊钩 L50×80×6 アルミ

支柱 120×120 アルミハニカム

ベースグランドファンデーション

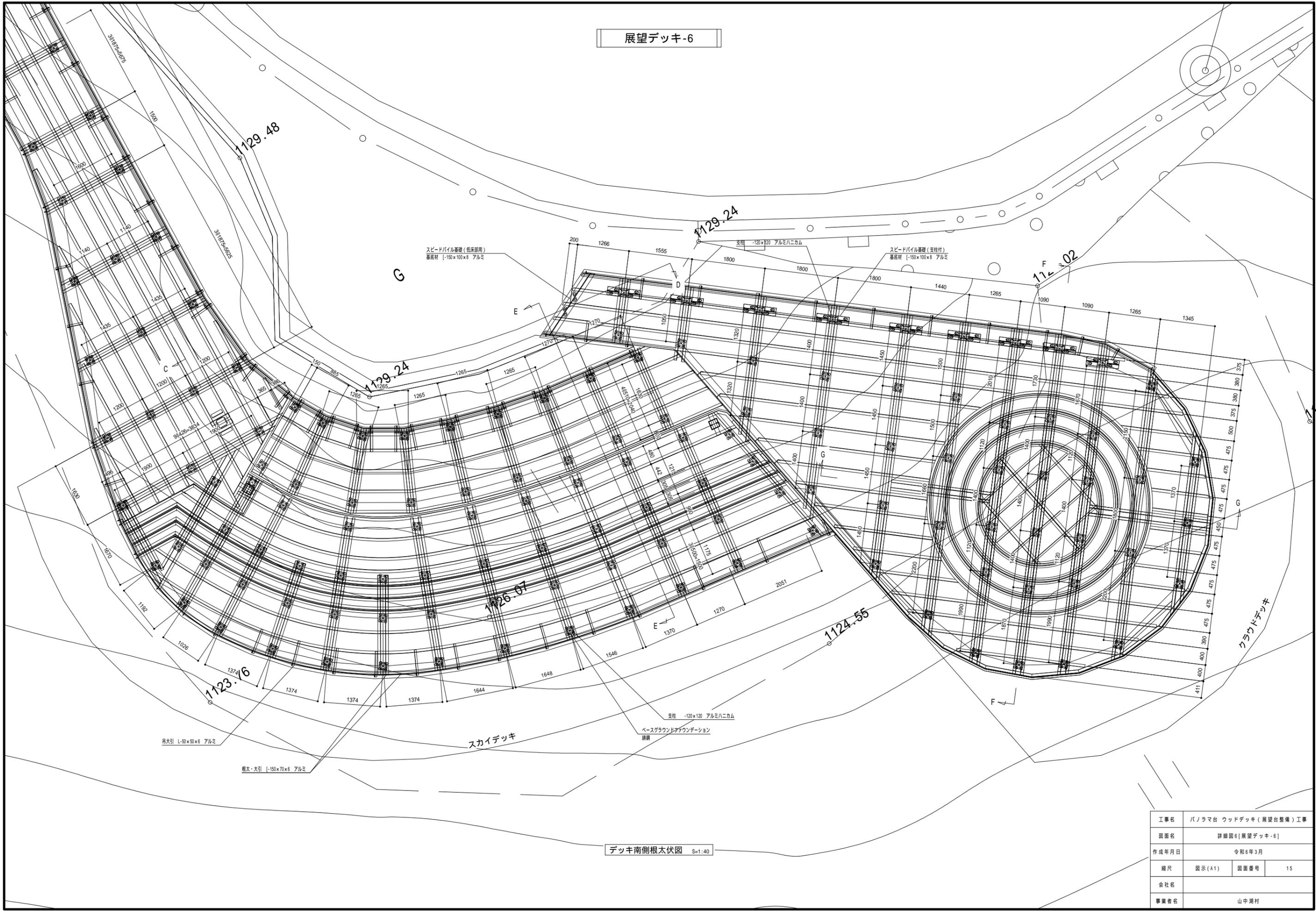
鉄鋼

スロープ階段

デッキ北側根太伏図 S=1:40

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図5 [展望デッキ-5]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	14
会社名			
事業者名	山中湖村		

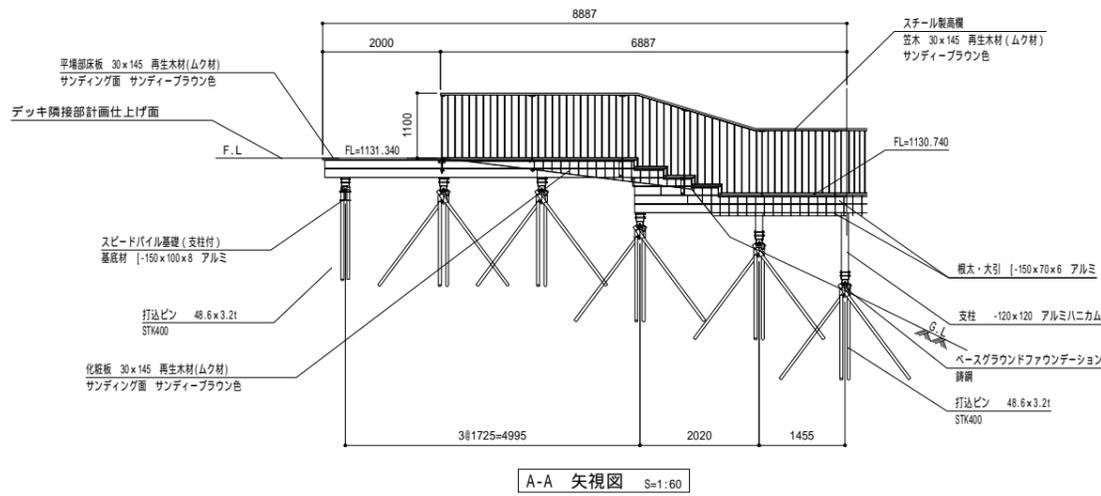
展望デッキ-6



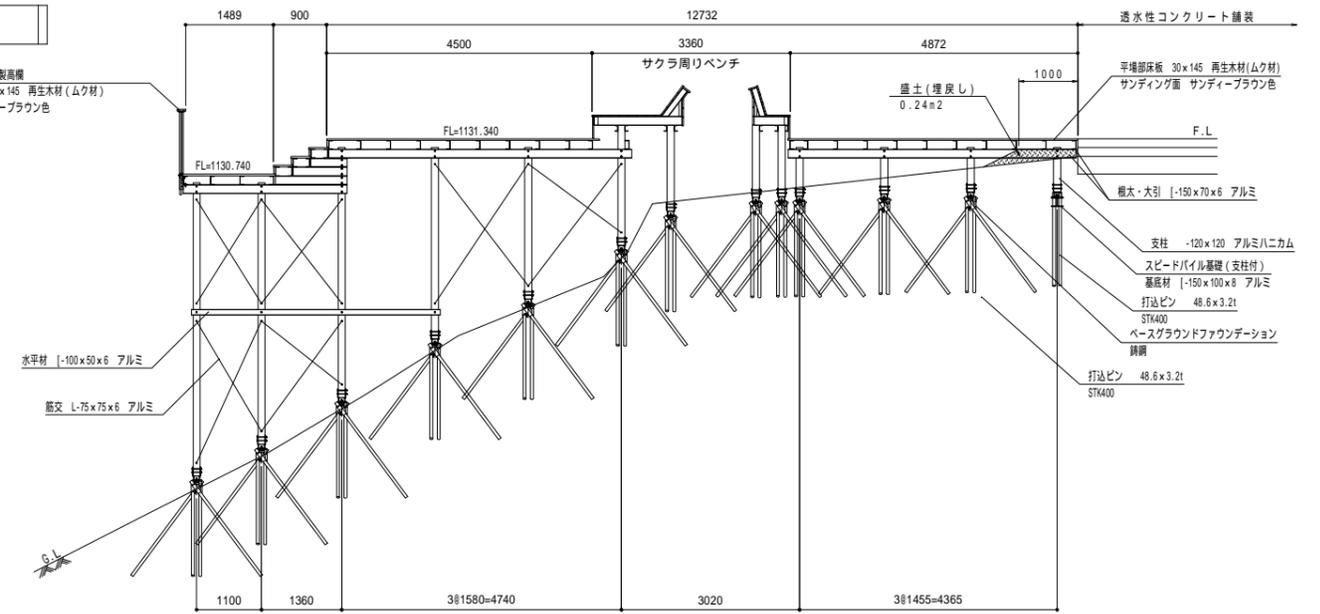
デッキ南側根太伏図 S=1:40

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図6[展望デッキ-6]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	15
会社名			
事業者名	山中湖村		

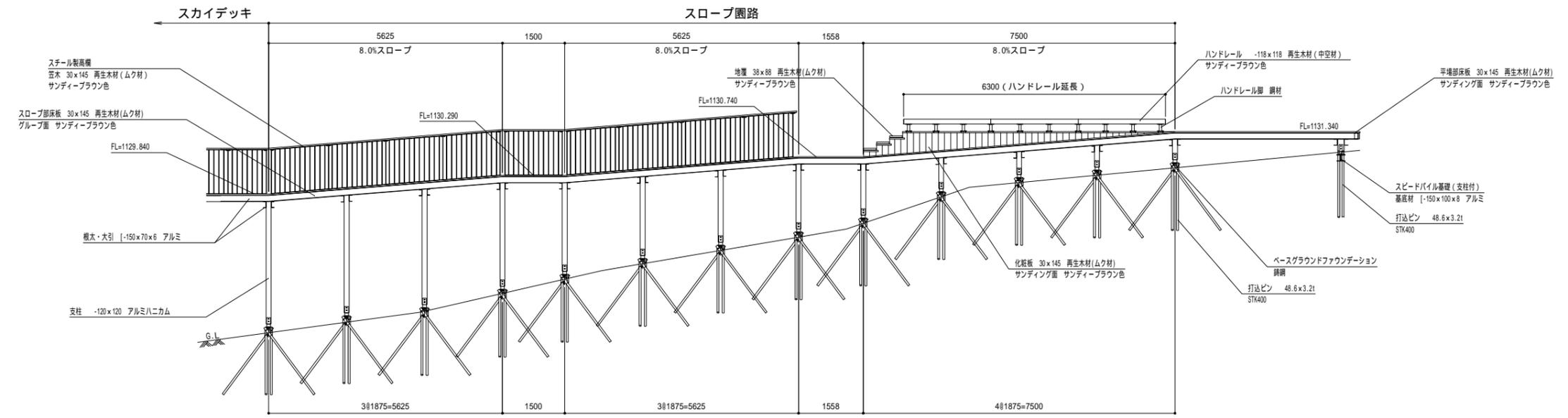
展望デッキ-7



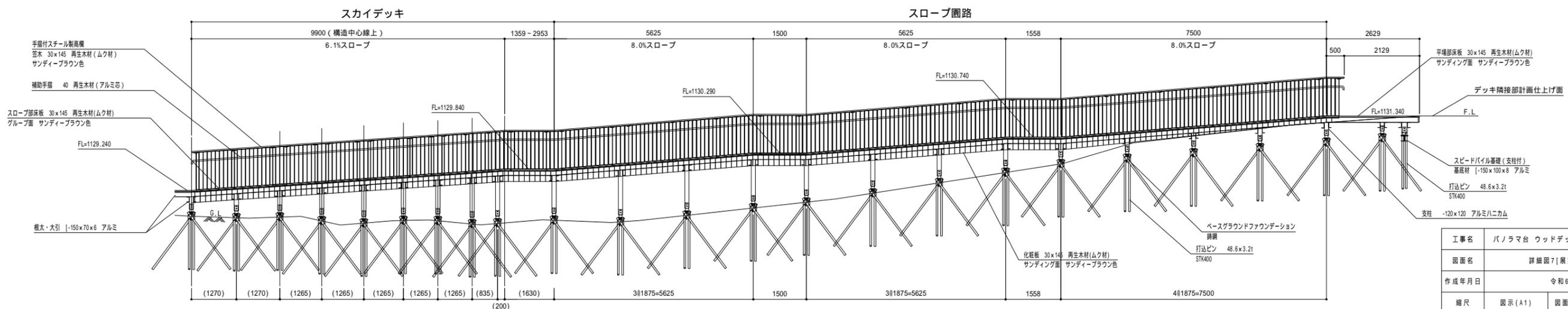
A-A 矢視図 S=1:60



B-B 矢視図 S=1:60



C-C 矢視図 S=1:60

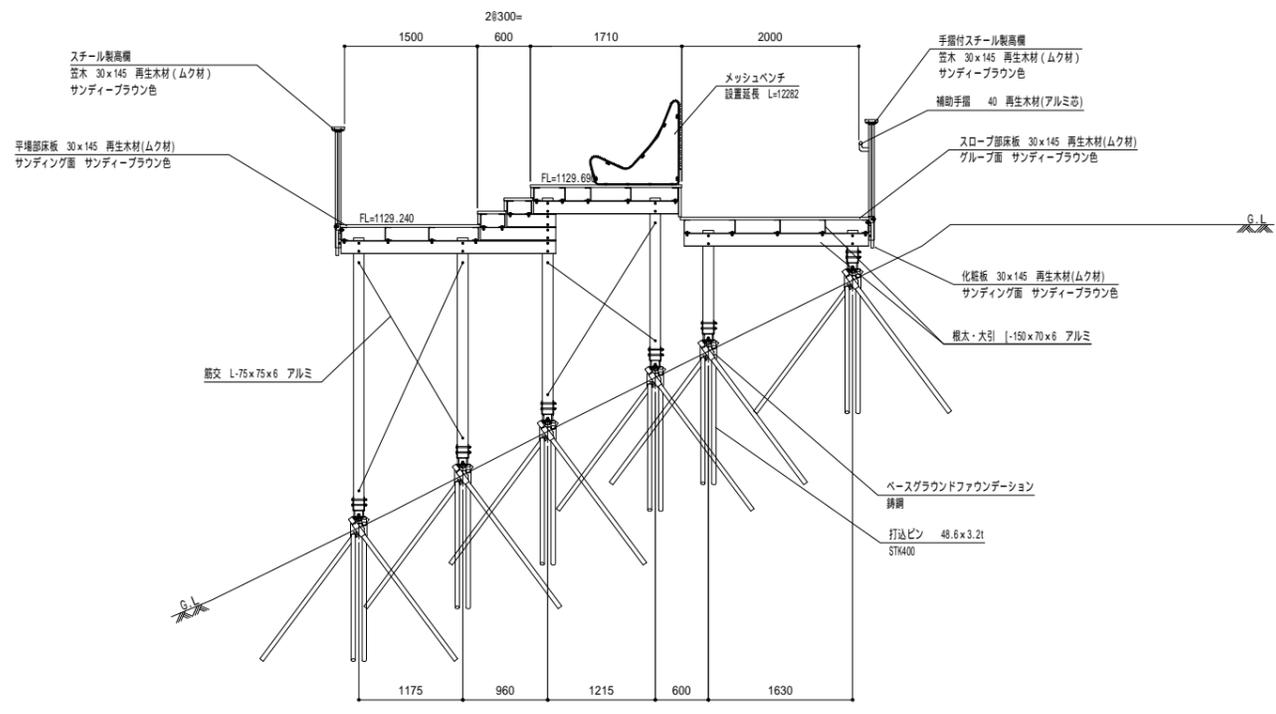


D-D 矢視図 S=1:60

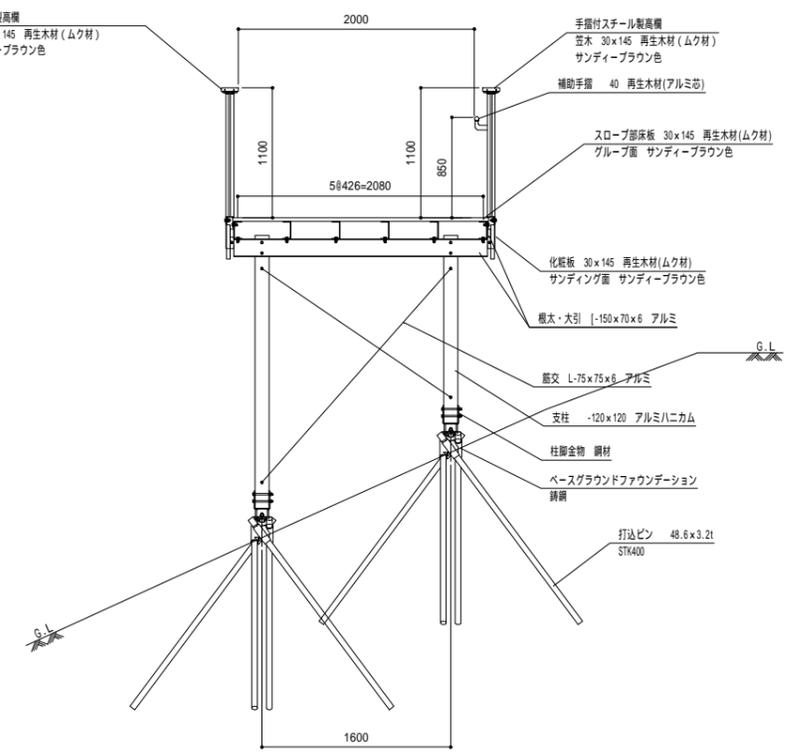
( ) 内寸法は構造中心線上での寸法を示す。

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図7 [展望デッキ-7]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	16
会社名			
事業者名	山中湖村		

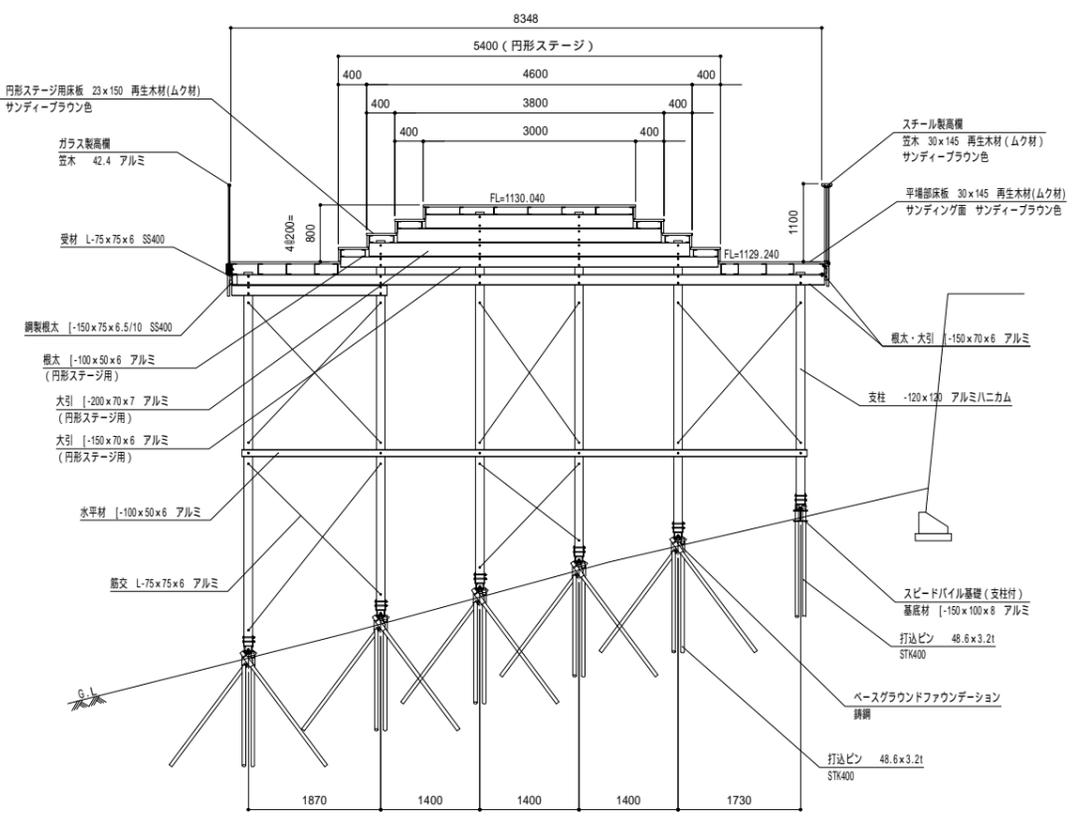
展望デッキ-8



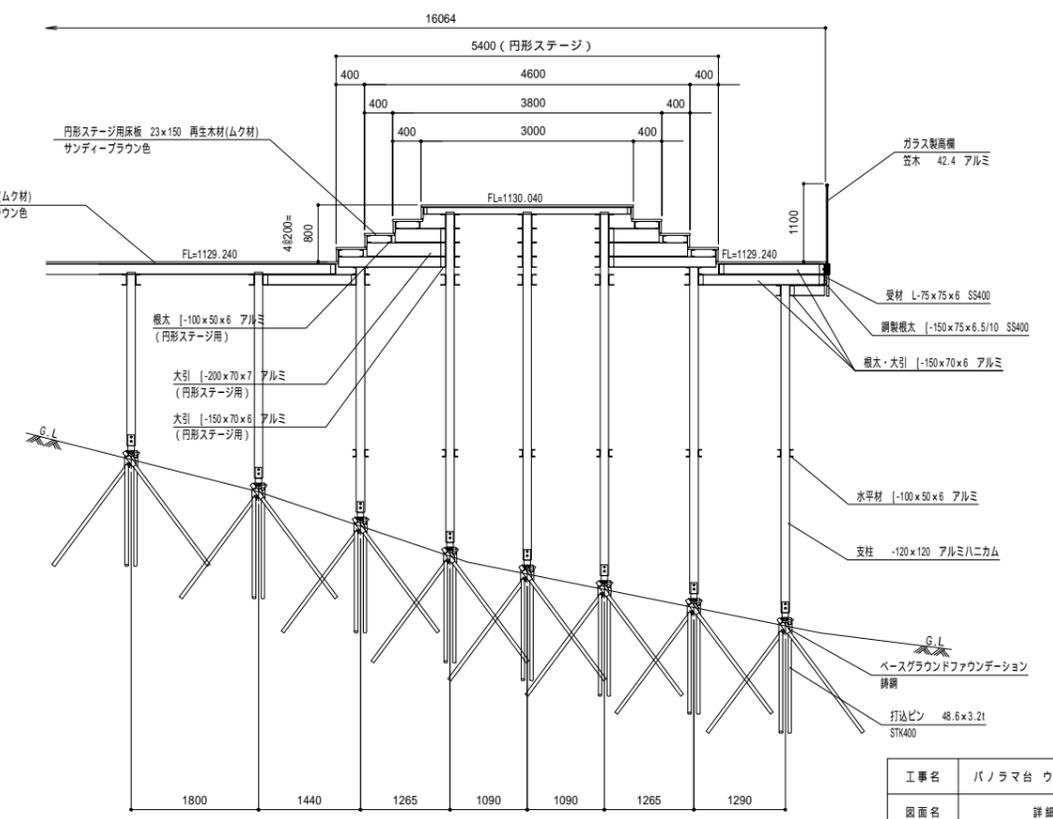
E-E 矢視図 S=1:40



スロープ部標準断面図 S=1:30



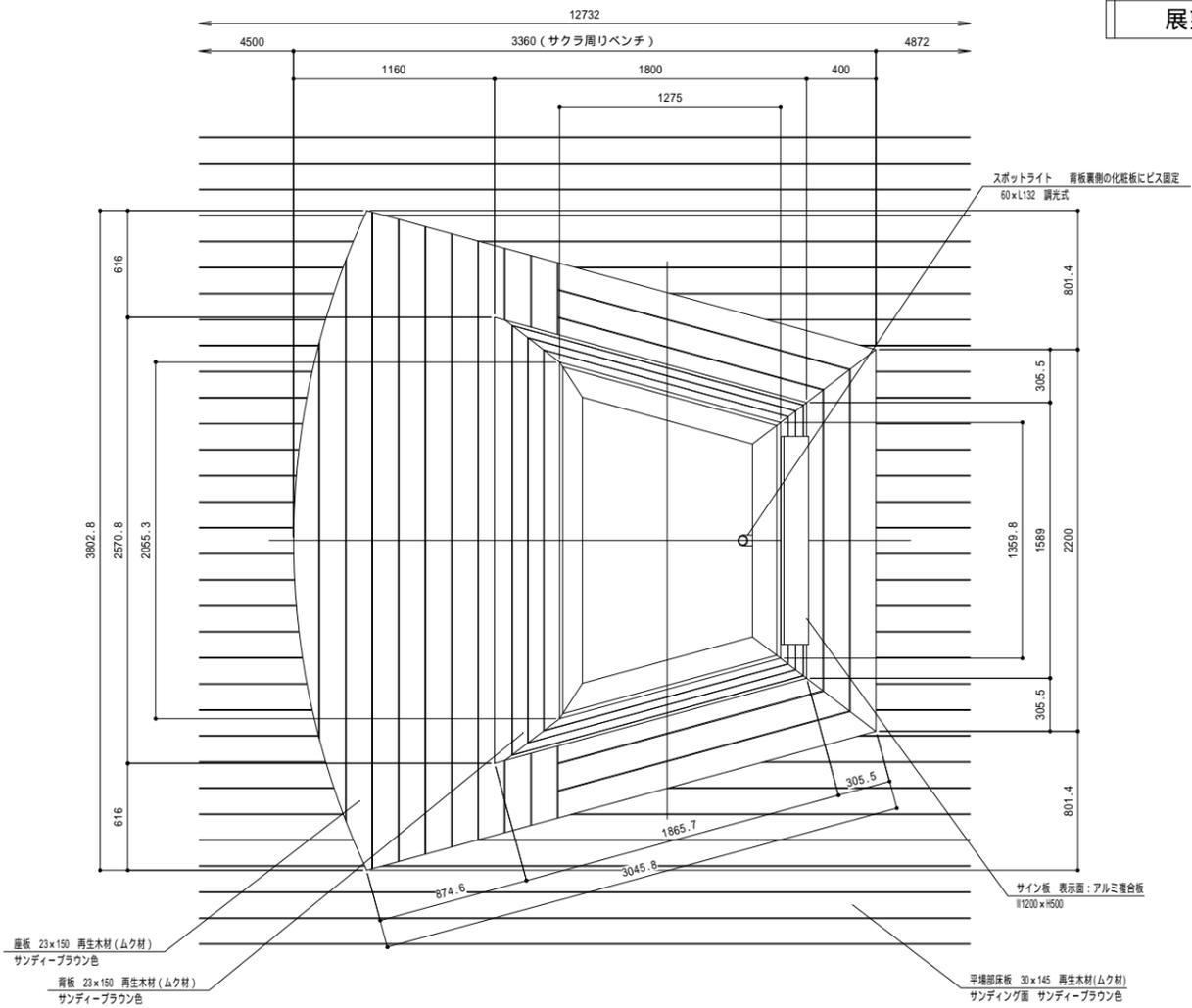
F-F 矢視図 S=1:50



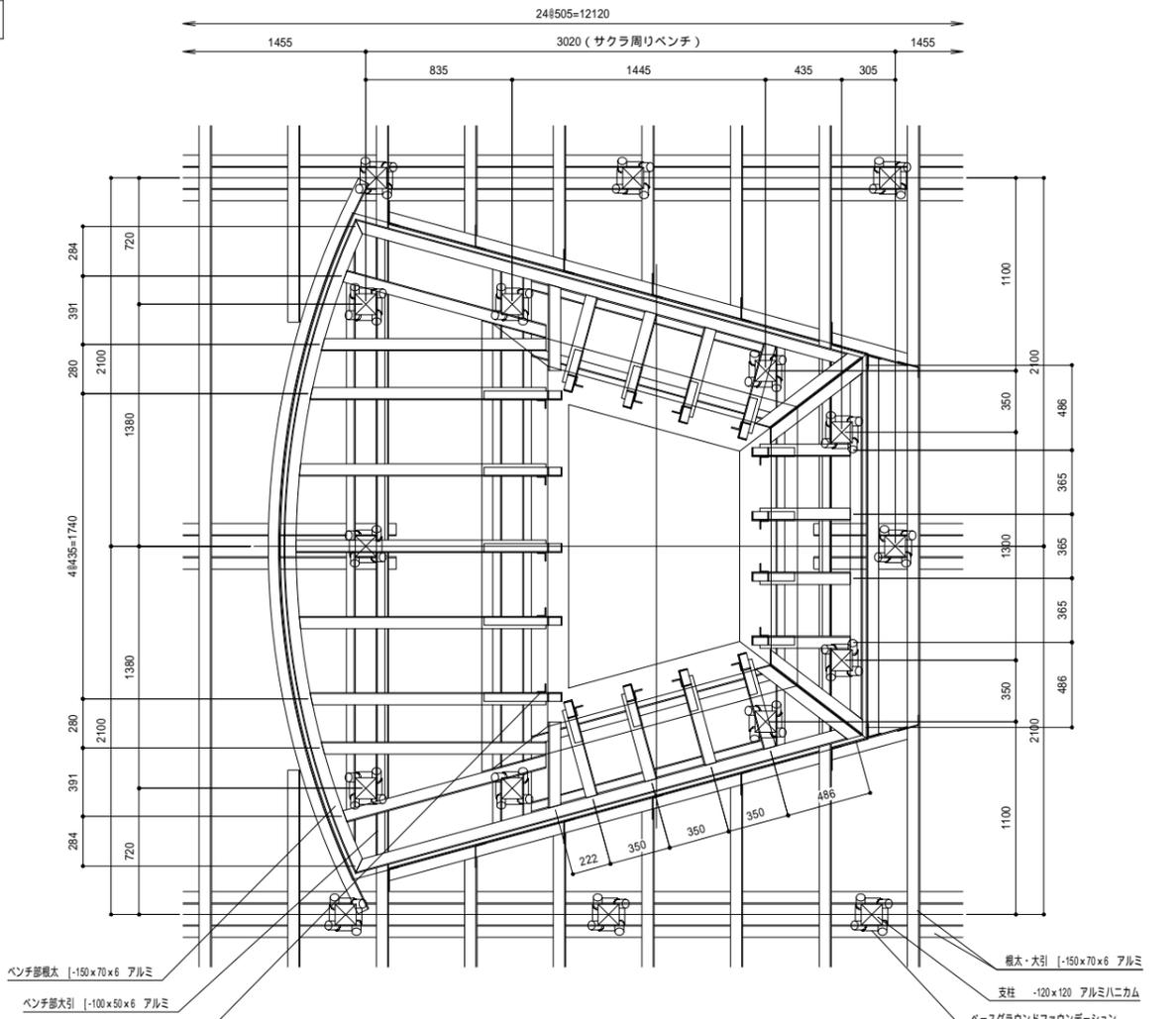
G-G 矢視図 S=1:50

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図8[展望デッキ-8]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	17
会社名			
事業者名	山中湖村		

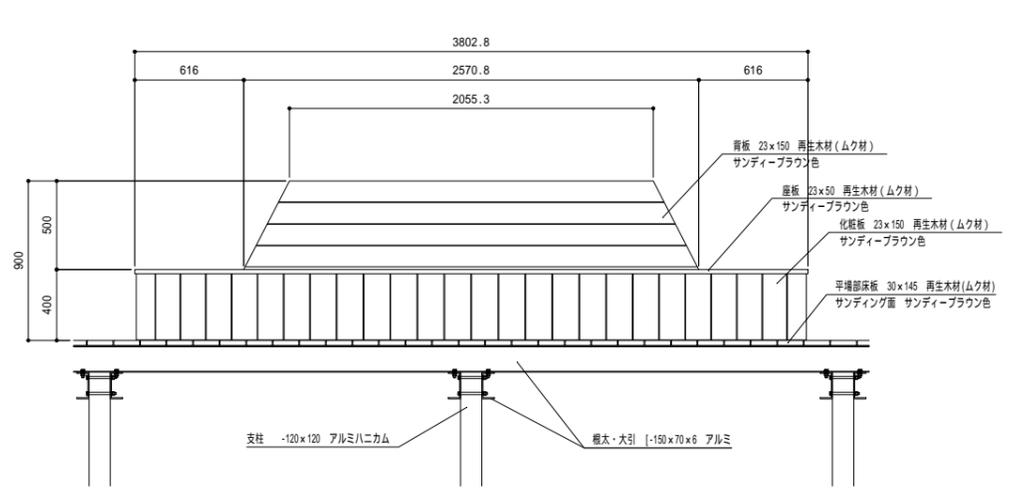
展望デッキ-9



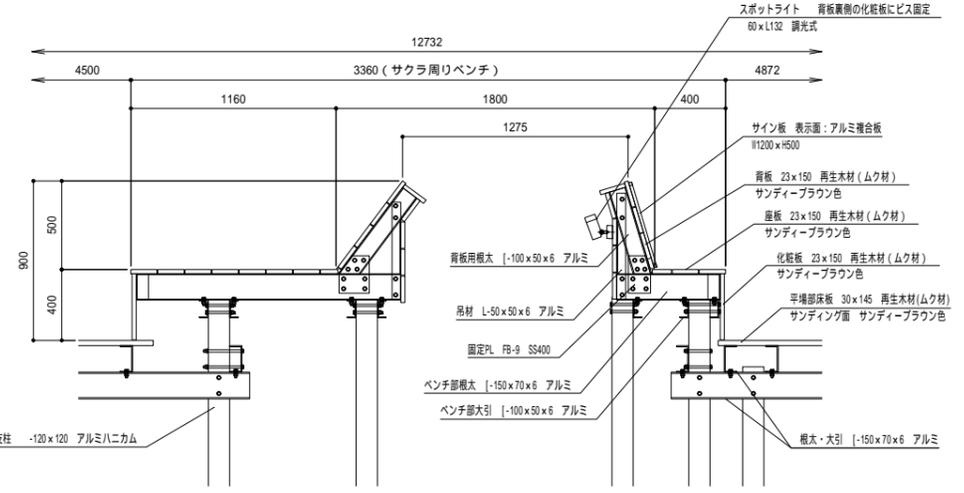
サクラ周りベンチ平面図 S=1:20



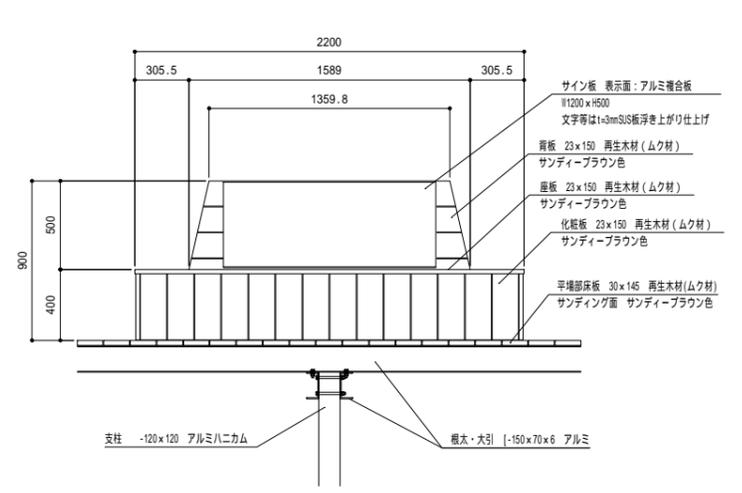
サクラ周りベンチ根太伏図 S=1:20



サクラ周りベンチ正面図 S=1:20



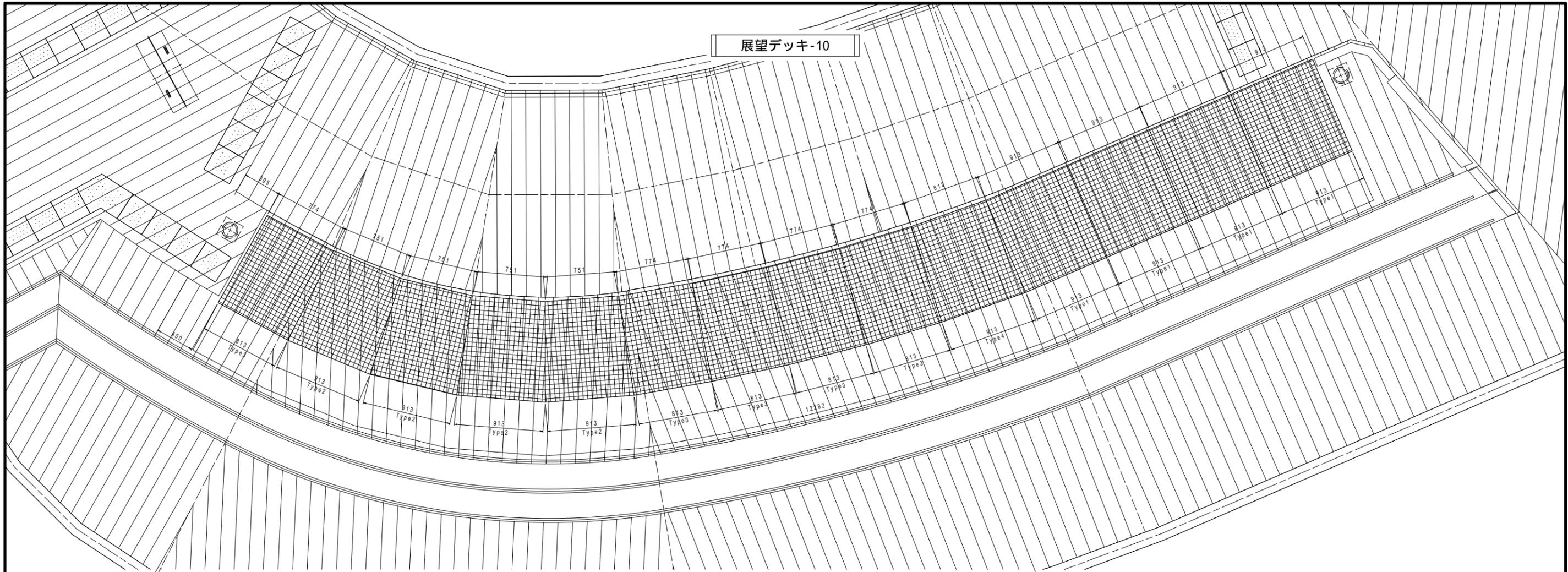
サクラ周りベンチ断面図 S=1:20



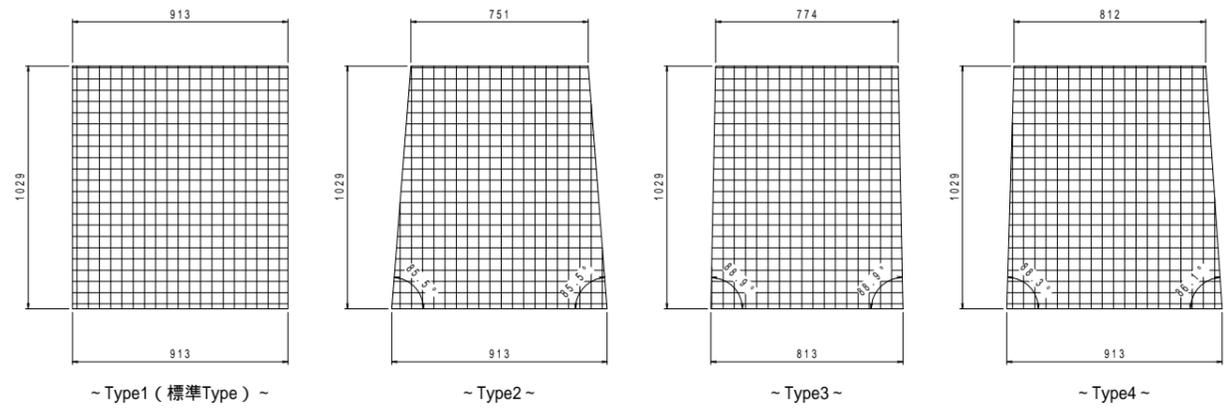
サクラ周りベンチ背面図 S=1:20

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図9 [展望デッキ-9]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	18
会社名			
事業者名	山中湖村		

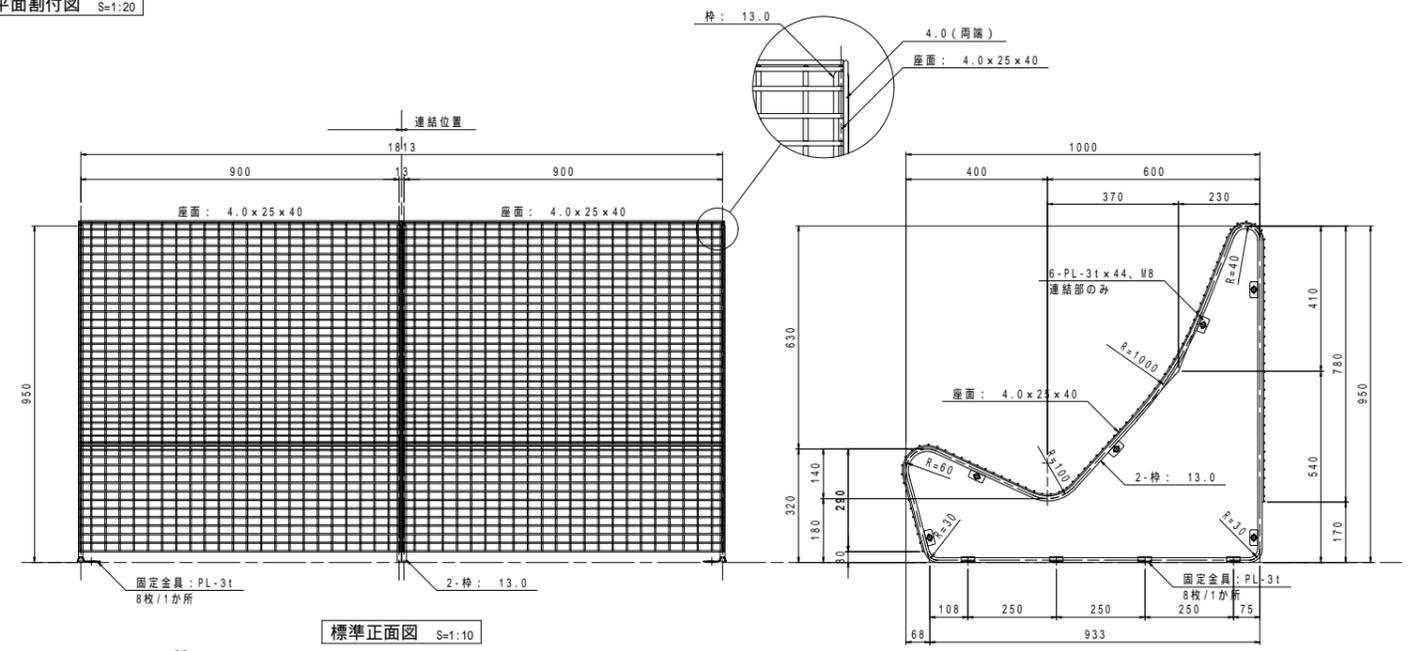
展望デッキ-10



メッシュベンチ平面割付図 S=1:20

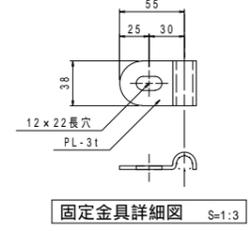


各Type平面図 S=1:15



標準正面図 S=1:10

標準側面図 S=1:10



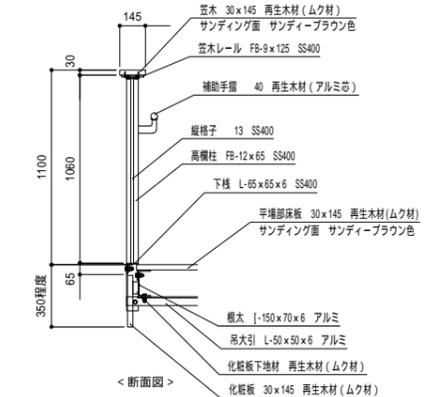
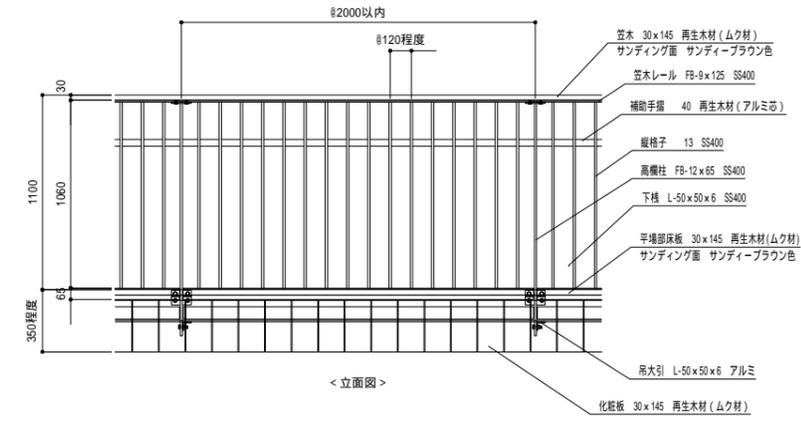
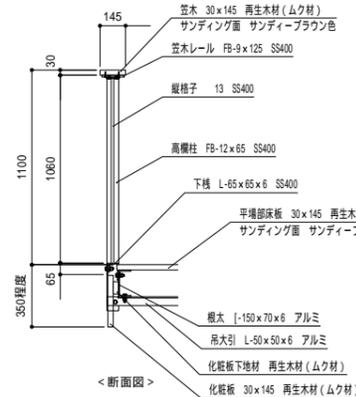
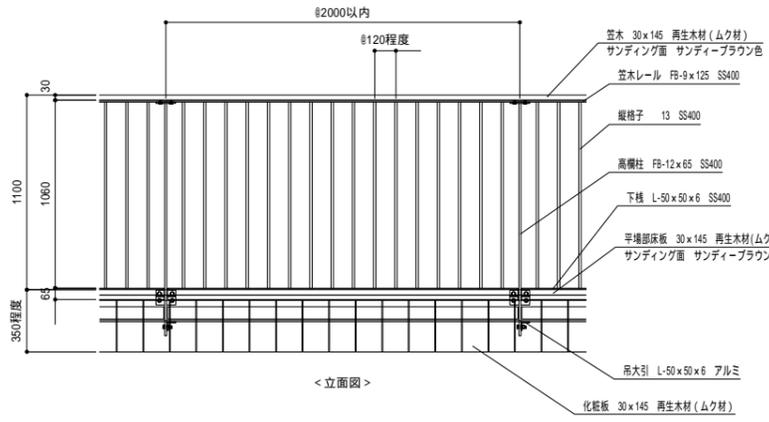
固定金具詳細図 S=1:3

主要部材表

部材名	規格・寸法	材質	表面処理
座面	溶接金網 4.0x25x40	SWM-P	HDZT63
枠	13.0、PL-3t x 44	SR235、SS400	HDZT63
固定金具	PL-3t	SS400	HDZT63

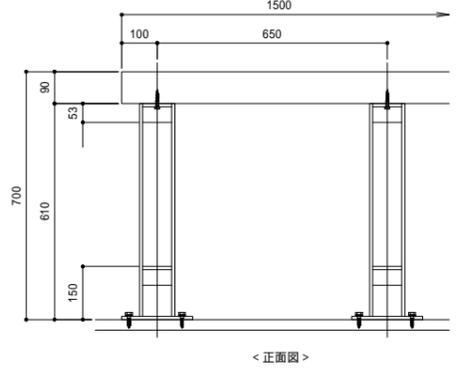
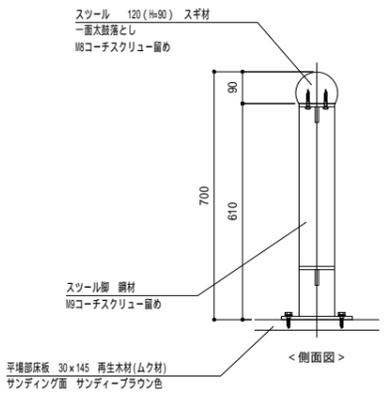
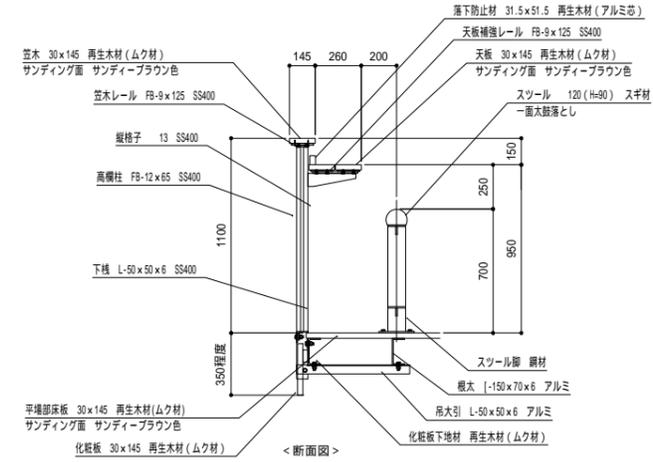
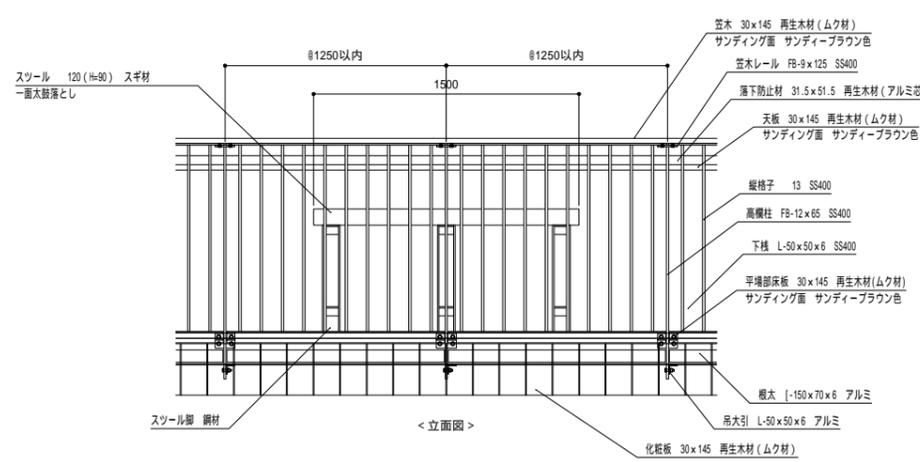
工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図10[展望デッキ-10]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	19
会社名			
事業者名	山中湖村		

展望デッキ-11



スチール製高欄標準図 S=1:20

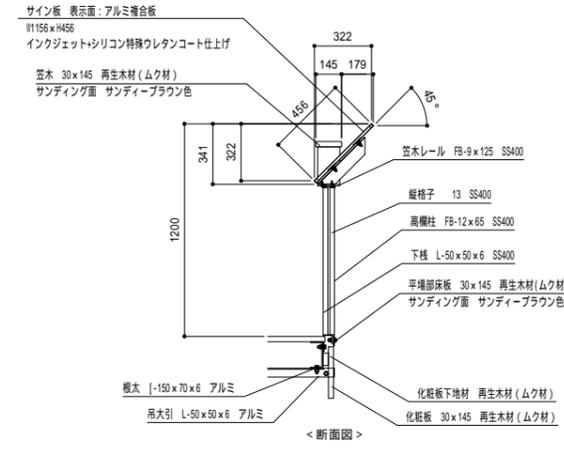
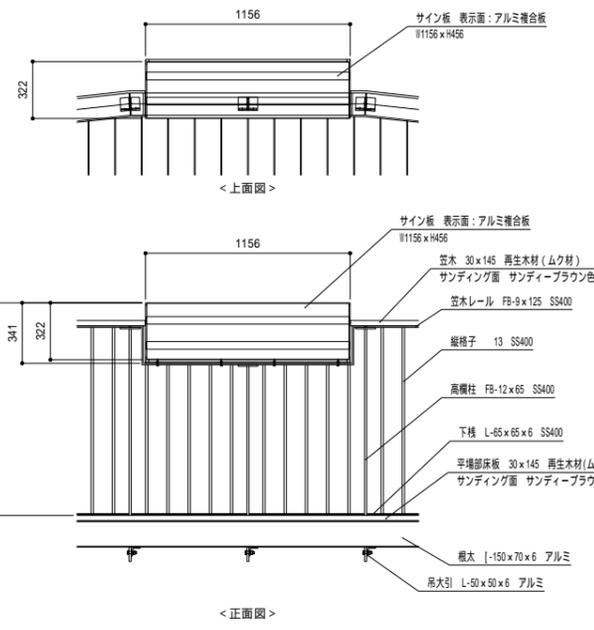
手摺付スチール製高欄標準図 S=1:20



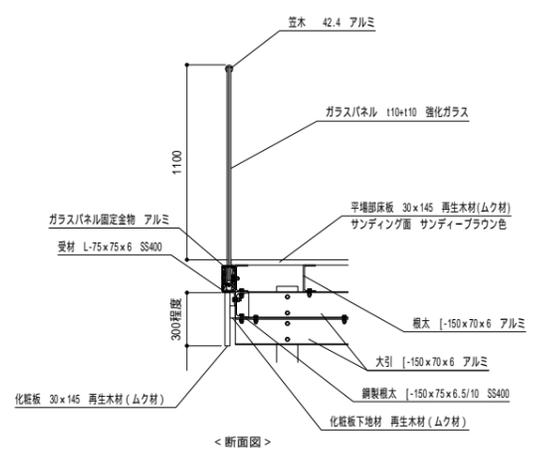
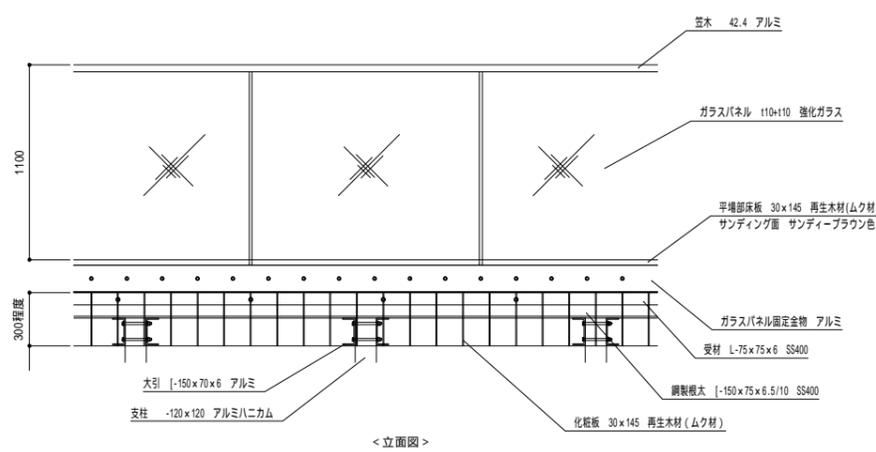
スチール設置位置は施工時に適宜調整することとする。

スチール詳細図 S=1:10

カウンター付スチール製高欄標準図 S=1:20



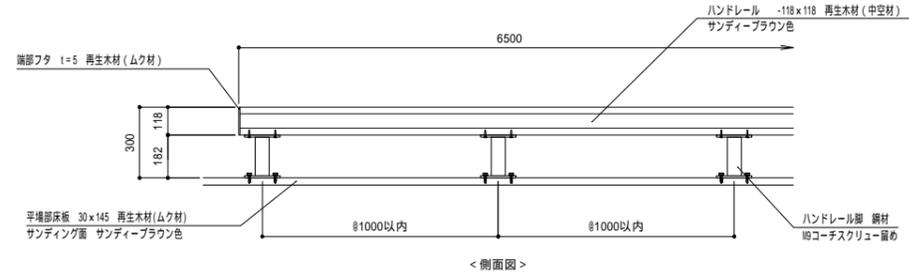
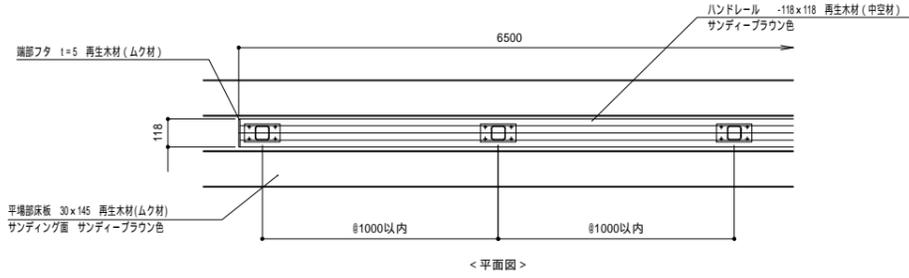
サイン板設置部スチール製高欄詳細図 S=1:20



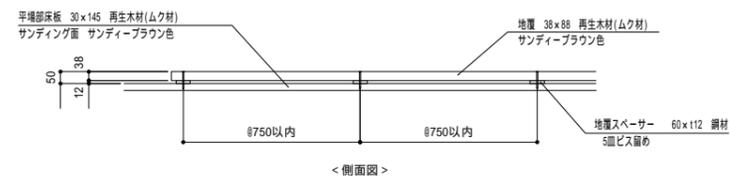
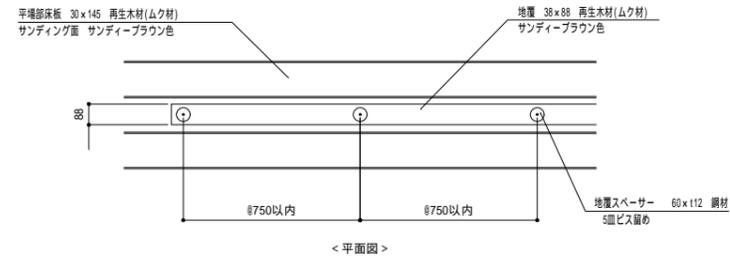
ガラス製高欄標準図 S=1:20

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図11 [展望デッキ-11]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	20
会社名			
事業者名	山中湖村		

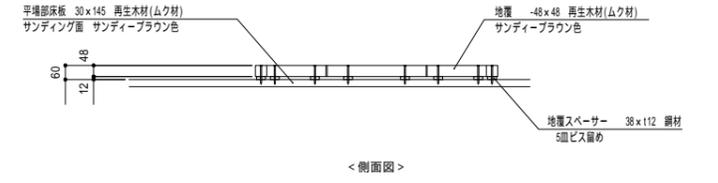
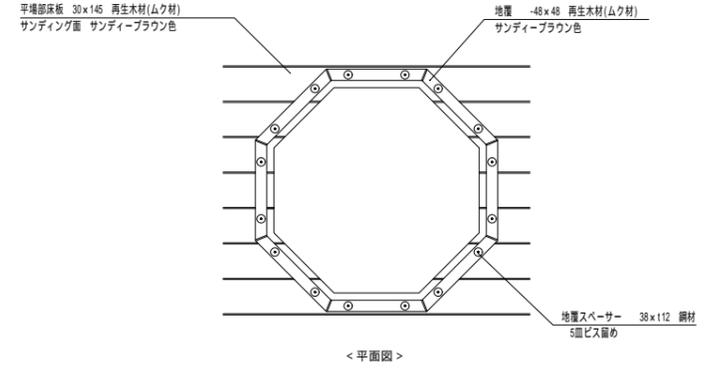
展望デッキ-12



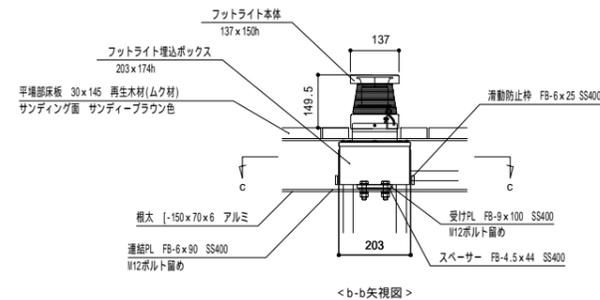
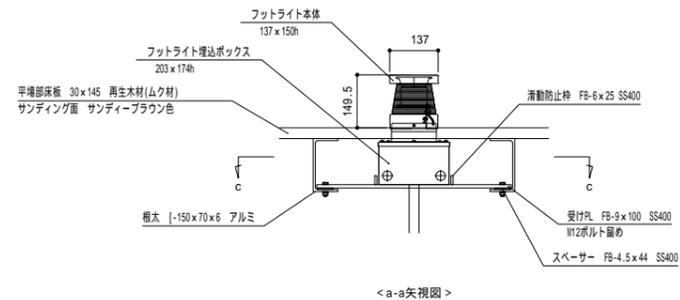
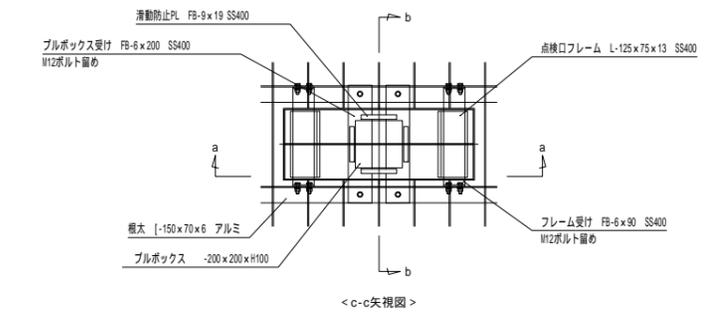
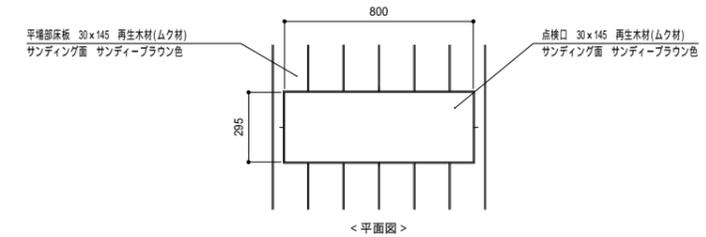
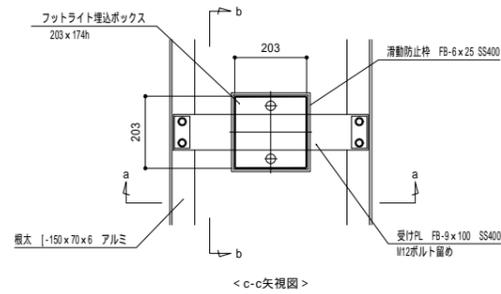
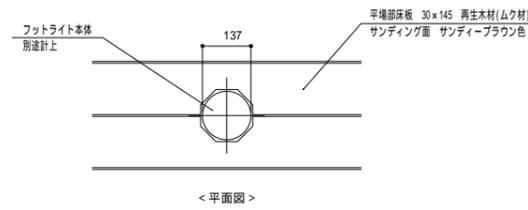
ハンドレール詳細図 S=1:15



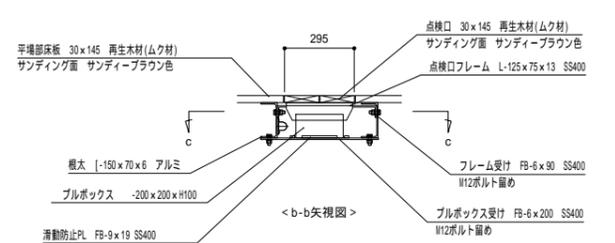
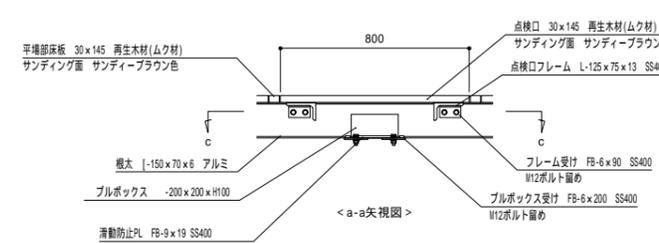
地覆詳細図 S=1:15  
~ 段差部 ~



地覆詳細図 S=1:15  
~ サクラの木周り ~



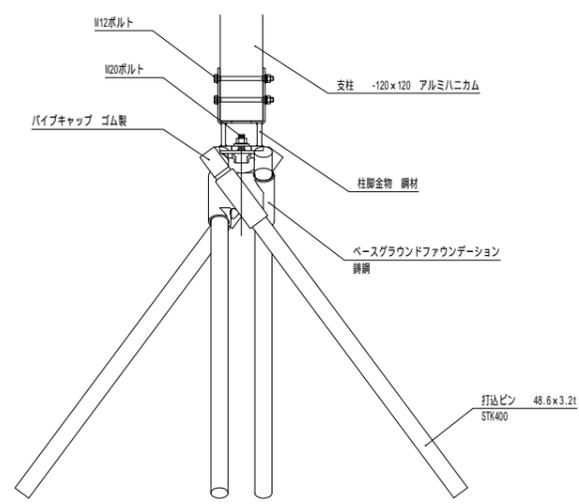
フットライト取付詳細図 S=1:10



ブルボックス設置部詳細図 S=1:15

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ (展望台整備) 工事		
図面名	詳細図12 [展望デッキ-12]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	21
会社名			
事業者名	山中湖村		

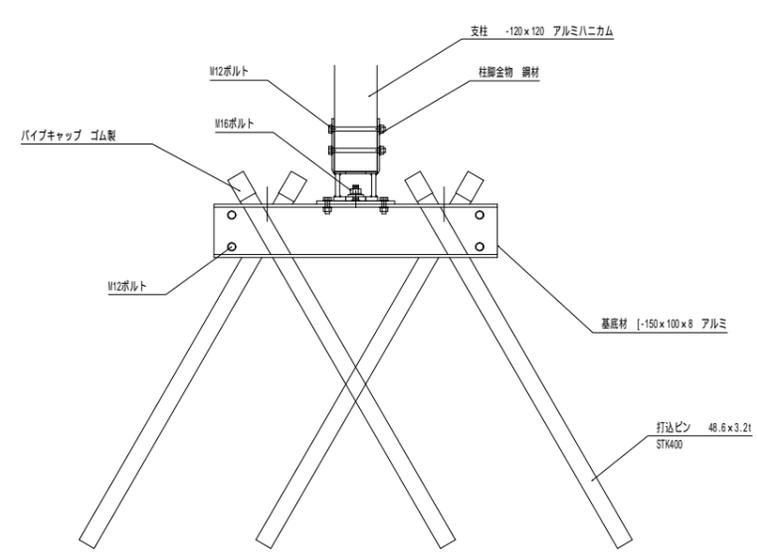
展望デッキ-13



適用箇所	打込ピン長	打込ピン最深部 影響範囲直径
パノラマデッキ	L=3500	4029.3
スカイデッキ	L=3500	4029.3
クラウドデッキ	L=3500	4029.3
スロープ階路	L=3100	3549.3

基礎詳細図 S=1:10

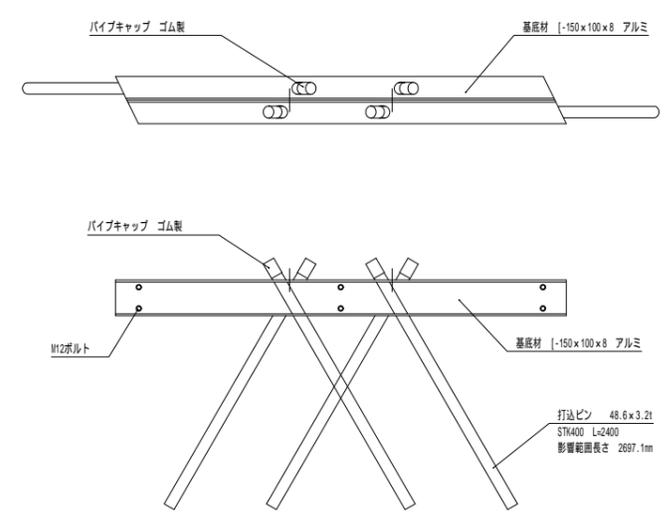
~ベースグラウンドファウンデーション基礎~



適用箇所	打込ピン長	打込ピン最深部 影響範囲長さ
パノラマデッキ	L=3100	3463.2
クラウドデッキ	L=3100	3463.2

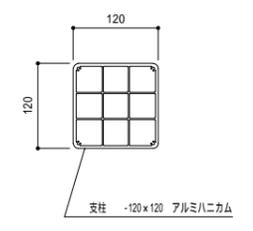
基礎詳細図 S=1:10

~スピードパイル基礎(支柱付)~

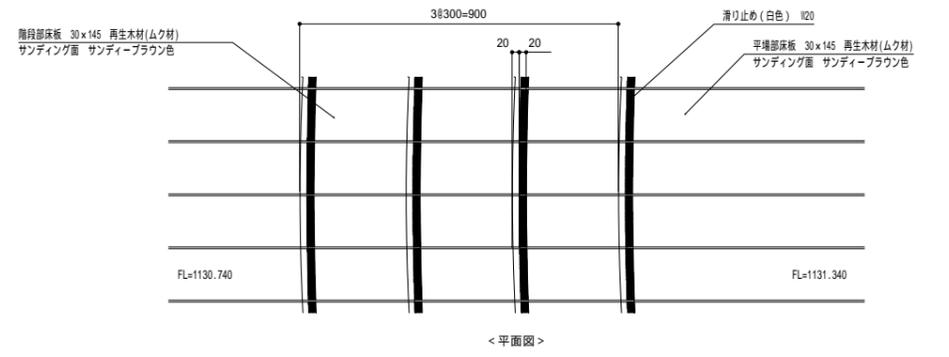


基礎詳細図 S=1:15

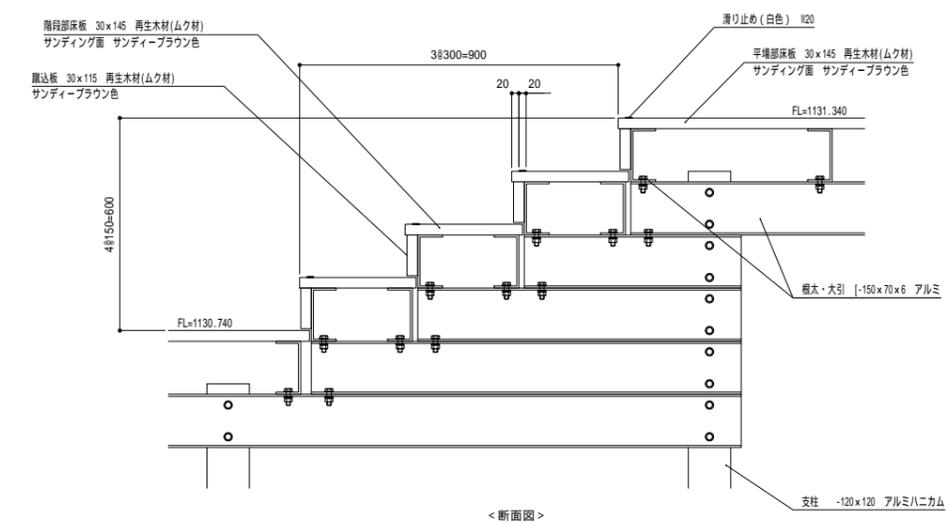
~スピードパイル基礎(低床部用)~



支柱詳細図 S=1:5

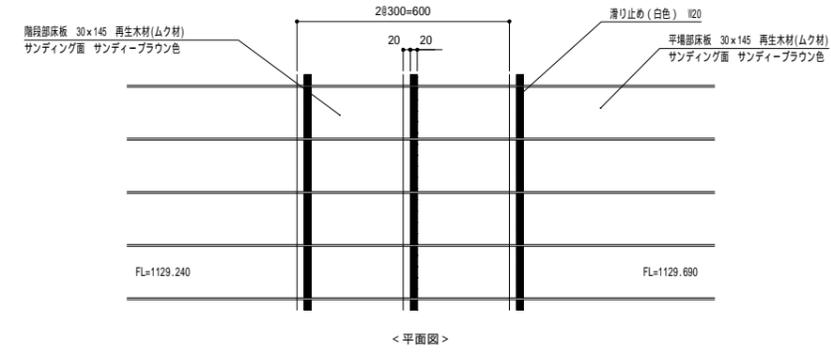


<平面図>

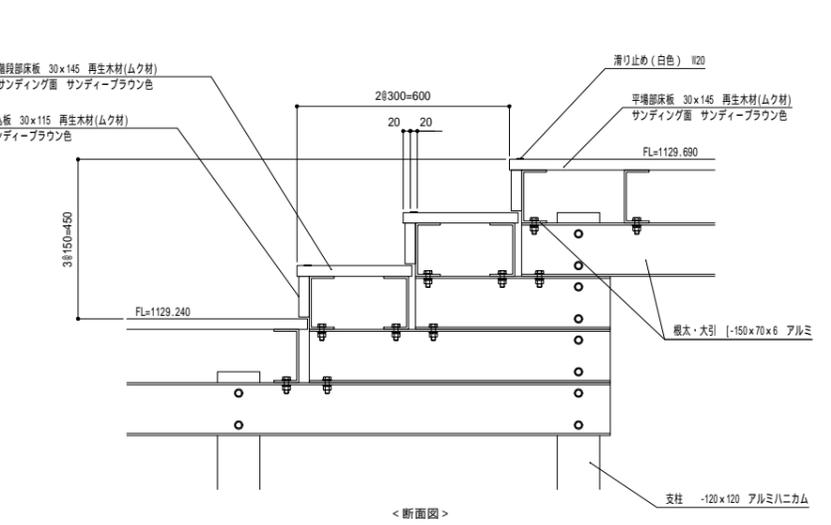


<断面図>

パノラマデッキ部階段詳細図 S=1:10

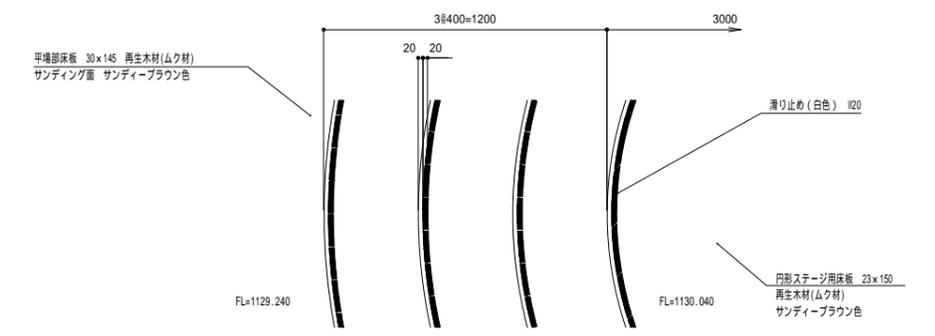


<平面図>

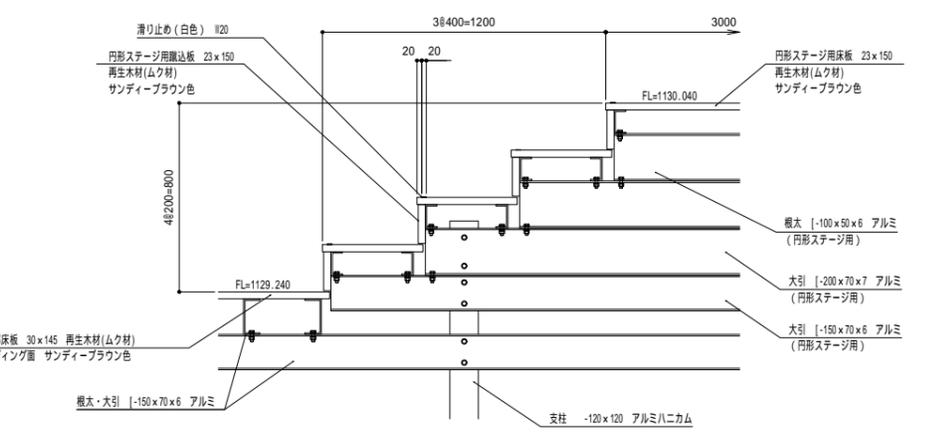


<断面図>

スカイデッキ部階段詳細図 S=1:10



<平面図>

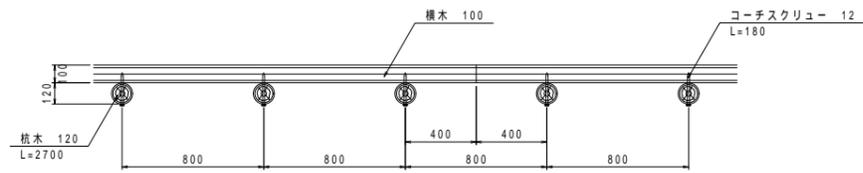


<断面図>

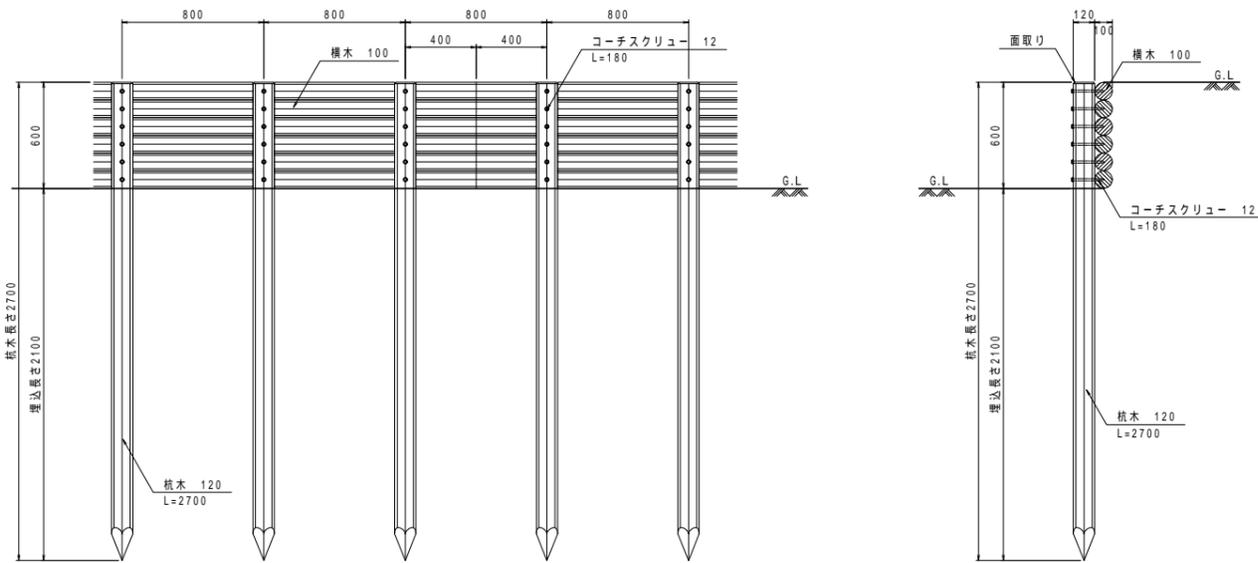
円形ステージ部階段詳細図 S=1:15

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図13[展望デッキ-13]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	22
会社名			
事業者名	山中湖村		

## 丸太土留め



平面図 S=1:20

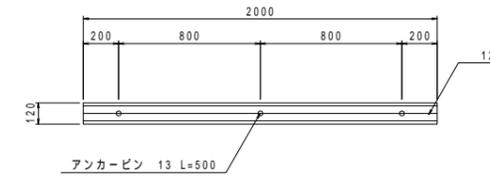


正面図 S=1:20

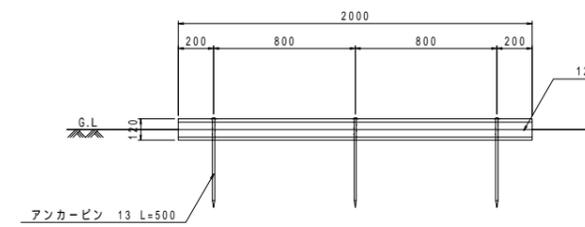
断面図 S=1:20

- 特記)
- [木材]
- ・木材は杉材(丸太材はロータリー加工)を使用する。
  - ・木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
  - ・木材は全て加工後、AZNA ペンタキュアE0030木材保存剤を加圧注入処理する。
  - ・加圧注入方法はJIS A 9002による。
  - ・杭木の頭部は面取を行なう。
- [ボルト類]
- ・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
  - ・製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
  - ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。

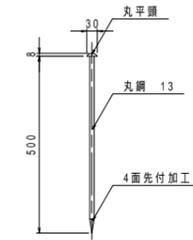
## 木製アスカーブ



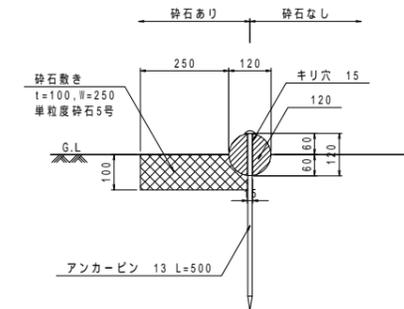
平面図 S=1:20



立面図 S=1:20



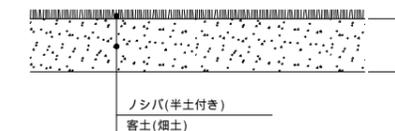
アンカーピン詳細図 S=1:10



断面図 S=1:10

- 特記)
- [木材]
- ・木材は杉材(丸太材はロータリー加工)を使用する。
  - ・木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
  - ・木材は全て加工後、AZNA ペンタキュアE0030木材保存剤を加圧注入処理する。
  - ・加圧注入方法はJIS A 9002による。
  - ・本製品はA0認証製品製造工場にて製作するものとする。
- [ボルト類]
- ・アンカーピンは、溶融亜鉛めっきとする。
  - ・製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
  - ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。

## 張芝



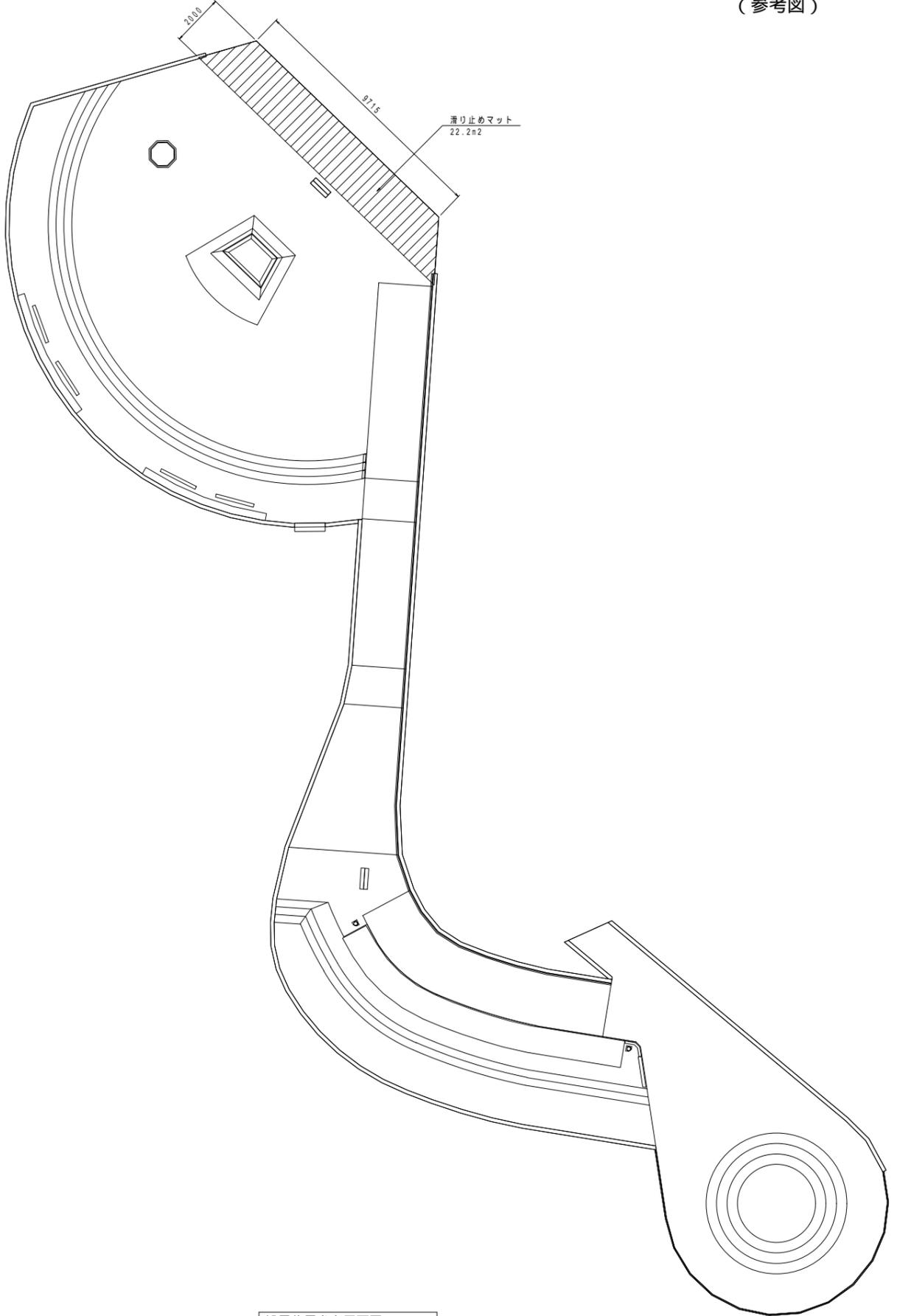
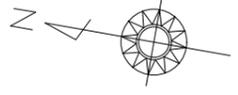
断面図 S=1:10

### 材料表 張芝

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
客土	畑土	m <sup>3</sup>	15.0	t=150
ノシバ	半土付き	m <sup>2</sup>	100.0	

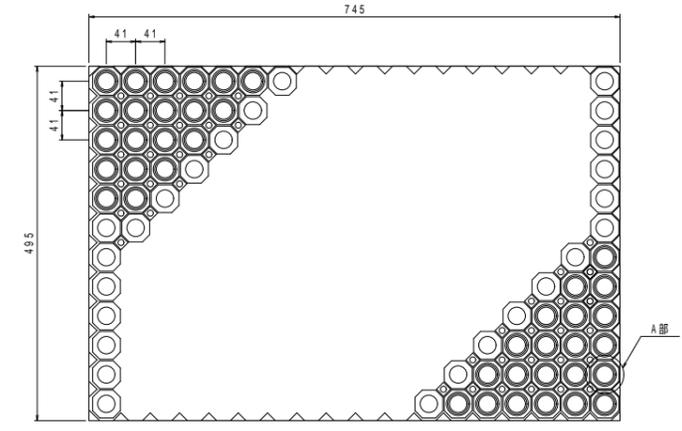
100m<sup>2</sup>当り

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図14[丸太土留め・木製アスカーブ・張芝]		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	23
会社名			
事業者名	山中湖村		

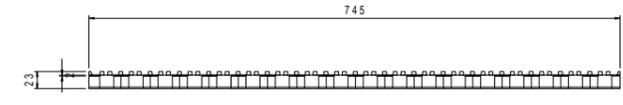


設置位置参考平面図 S=1:100

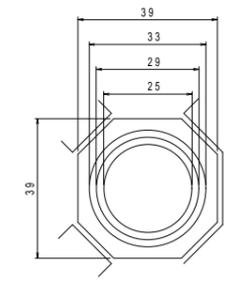
滑り止めマット  
(参考図)



平面図 S=1:5



立面図 S=1:5



A部詳細図 S=1:1

工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	詳細図[滑り止めマット](参考)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示(A1)	図面番号	-
会社名			
事業者名	山中湖村		

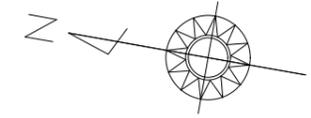
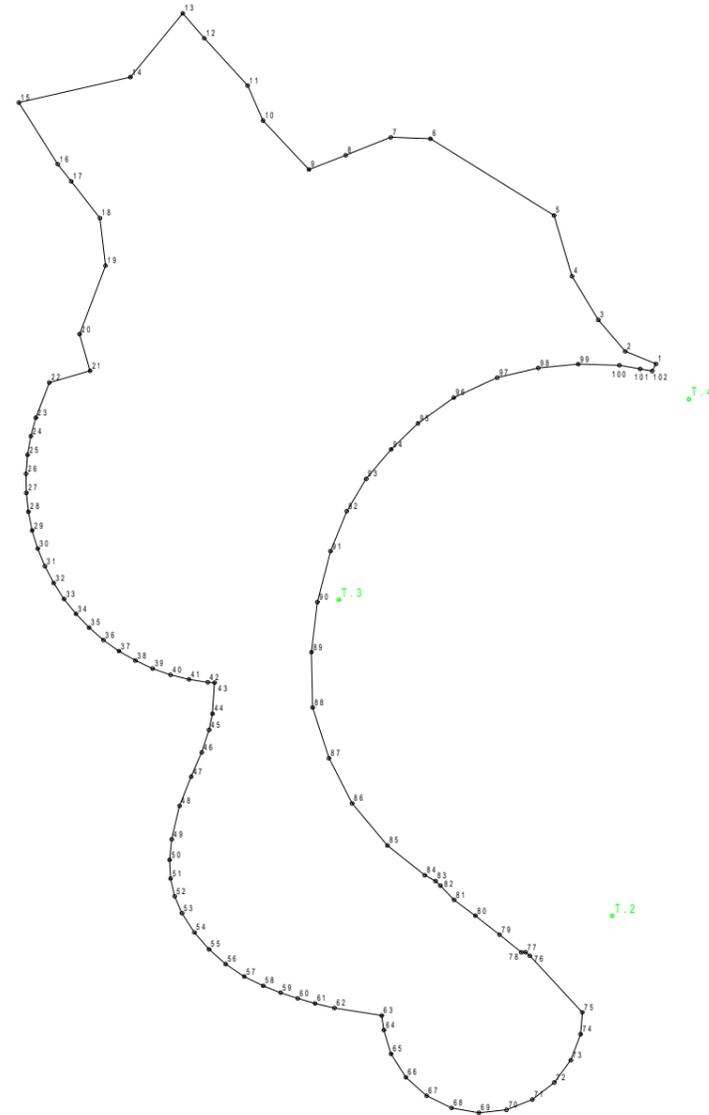
# 区域座標管理図 S=1:500(A3)

区域座標一覧表

点名称	X座標	Y座標	点名称	X座標	Y座標
1	-65114.463	37189.904	71	-65114.881	37137.254
2	-65112.173	37190.396	72	-65116.201	37138.703
3	-65109.916	37192.257	73	-65117.074	37140.458
4	-65107.548	37194.969	74	-65117.434	37142.385
5	-65105.550	37198.972	75	-65117.291	37143.928
6	-65096.016	37202.788	76	-65112.941	37147.217
7	-65093.242	37202.397	77	-65112.606	37147.409
8	-65090.327	37200.606	78	-65112.317	37147.353
9	-65087.941	37199.165	79	-65110.584	37148.309
10	-65084.153	37202.005	80	-65108.667	37149.336
11	-65082.649	37204.240	81	-65106.988	37150.173
12	-65079.056	37206.998	82	-65105.866	37150.992
13	-65077.251	37208.468	83	-65105.473	37151.250
14	-65074.394	37203.398	84	-65104.646	37151.525
15	-65066.949	37200.258	85	-65101.691	37153.133
16	-65070.412	37196.451	86	-65098.713	37155.629
17	-65071.555	37195.424	87	-65096.551	37158.487
18	-65074.003	37193.222	88	-65094.797	37161.812
19	-65074.970	37189.986	89	-65094.037	37165.638
20	-65074.011	37184.907	90	-65093.832	37169.196
21	-65075.195	37182.483	91	-65094.120	37172.900
22	-65072.494	37181.165	92	-65094.761	37175.868
23	-65071.996	37178.555	93	-65095.718	37178.361
24	-65071.871	37177.216	94	-65097.091	37180.717
25	-65071.872	37175.873	95	-65098.638	37182.856
26	-65071.999	37174.537	96	-65100.813	37185.081
27	-65072.250	37173.218	97	-65103.593	37187.001
28	-65072.624	37171.929	98	-65106.327	37188.178
29	-65073.117	37170.680	99	-65109.056	37188.935
30	-65073.725	37169.483	100	-65111.942	37189.361
31	-65074.443	37168.349	101	-65113.430	37189.360
32	-65075.263	37167.286	102	-65114.292	37189.359
33	-65076.180	37166.305			
34	-65077.184	37165.414			
35	-65078.267	37164.622			
36	-65079.420	37163.934			
37	-65080.633	37163.357			
38	-65081.893	37162.897			
39	-65083.192	37162.556			
40	-65084.517	37162.339			
41	-65085.856	37162.247			
42	-65087.198	37162.280			
43	-65087.672	37162.337			
44	-65087.903	37160.145			
45	-65087.867	37158.983			
46	-65087.634	37157.326			
47	-65087.202	37155.515			
48	-65086.744	37153.340			
49	-65086.610	37150.919			
50	-65086.712	37149.462			
51	-65087.013	37148.180			
52	-65087.519	37146.993			
53	-65088.224	37145.914			
54	-65089.333	37144.725			
55	-65090.552	37143.730			
56	-65091.893	37142.908			
57	-65093.337	37142.273			
58	-65094.773	37141.859			
59	-65096.066	37141.597			
60	-65097.325	37141.405			
61	-65098.591	37141.272			
62	-65099.996	37141.194			
63	-65103.378	37141.243			
64	-65103.706	37140.267			
65	-65104.493	37138.693			
66	-65105.815	37137.246			
67	-65107.483	37136.216			
68	-65109.369	37135.681			
69	-65111.329	37135.683			
70	-65113.214	37136.221			

基準点座標一覧表

点名称	X座標	Y座標
T.1	-65164.118	37160.928
T.2	-65118.178	37151.006
T.3	-65095.297	37169.621
T.4	-65117.185	37187.852
T.5	-65159.052	37183.786



工事名	パノラマ台 ウッドデッキ(展望台整備)工事		
図面名	区域座標管理図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	1:500(A3)	図面番号	-
会社名			
事業者名	山中湖村		